平成12年度

海外農業開発事業

プロジェクトファインディング調査報告書

ボリヴィア共和国:ヤパカ二川右岸地域農業復旧計画

エクアドル共和国:アンブキ地区農村復旧計画

平成13年3月

社団法人 海外農業開発コンサルタンツ協会

はじめに

本報告書は、平成13年2月2日から2月21日までの20日間に亘り、ボリヴィア共和国及びエクアドル共和国において実施した下記プロジェクトに係るプロジェクト・ファインディング調査の結果を纏めたものである。

・ボリヴィア共和国 :ヤパカニ川右岸地域農業復旧計画

・エクアドル共和国 : アンブキ地区農村復旧計画

本調査は社団法人海外農業開発コンサルタンツ協会(ADCA)から派遣された下記の調査員により実施された。

・調 査 員 : 西川 義彦 内外エンジニアリング株式会社

今回の調査に当たってボリヴィア国では、対外経済開発の窓口である対外経済協力省(VIFE)、農業開発を実施している農牧農村開発省(MAGRD)及びサンタクルス県庁、日本側の窓口として在ボリヴィア国日本大使館及びJICA派遣専門家等の方々から多くの情報、御指導を頂いた。また、エクアドル共和国においては対外協力省(MRE)、シエラ北部開発局(CORSINOR)、日本側の窓口として在エクアドル国日本大使館及びJICA派遣専門家等の方々から情報や御協力を頂いた。ここにこれらの方々に深く敬意を表する次第である。また、これらの諸計画が日本国の協力により早期に実現されることを願うものである。

平成13年3月

はじめに 業務従事者経歴書 調査日程

I. ボリヴィア国ヤパカ二川右岸地域農業復旧計画 調査位置図

۱.	ボリ	〕ヴィア国ヤパカニ川右岸地域農業復旧計画	. B - 1
	1.1	ボリヴィア国の概要	. B - 1
	(1)	自然概況	.B- 1
	(2)	社会・経済状況	.B- 1
	(3)	他の援助国、国際機関等の計画	.B-4
	(4)	わが国の援助実施状況	.B- 5
	(5)	農業状況と農業政策	.B-6
	(6)	調査地区における農業の現状と問題点	.B-9
	1.2	ヤパカニ川右岸地域農業復旧計画計画	B -11
	(1)	計画の背景	B-11
	(2)	地区の概要	B-12
	(3)	計画の内容	B-14
	(4)	調査の概要	B-15
	(5)	実施工程	B-15
	(6)	計画実施機関	B-16
	(7)	期待される効果	B-16
	(8)	総合所見	B-17

添付資料

- 1.現地写真
- 2.面会者リスト
- 3.収集資料
- 4.要請書(案)

Ⅱ エクアドル国アンブキ地区農村復旧計画 調査位置図

2.	エク	アドル国アンブキ地区農村復旧計画	E- 1
2	2.1	エクアドル国の概要	E- 1
	(1)	自然概況	E- 1
	(2)	社会・経済状況	E- 3
	(3)	農業状況と農業政策	E- 5
	(4)	農業の現状と問題点	E- 6
2	2.2	アンブキ地区農村復旧計画	E- 7
	(1)	計画の背景	E- 7
	(2)	地区の概要	E- 8
	(3)	計画の内容	E- 9
	(4)	実施工程	E- 9
	(5)	計画実施機関	E- 9
	(6)	総合所見	E- 9
2	2.3	その他の情報I	E-10

添付資料

- 1.現地写真
- 2.面会者リスト
- 3.収集資料
- 4.要請書(案)

【業務従事者経歴書】

1)氏 名: 西川 義彦 (NISHIKAWA Yoshihiko)

2)生年月日: 昭和17年11月3日(57歳)

3) 現 住 所 : 滋賀県大津市大平 1-20-9 西武石山団地 D-20

4)専門技術: 農村整備

5)最終学歷: 昭和45年3月 京都大学農学部農業工学科卒業

6)職 歴: 昭和 45~平成元年: 内外エンジニアリング(株) 本社技術部

平成2~平成6年: "海外事業本部 技術次長

平成6~平成12年: "海外事業本部 技術部長

平成 12 年 2 月~ : " CM 部 技術部長

7)主要業務経歴: 昭和 58 年~59 年 エジプト国南ホサイニア農業開発計画

昭和60年~61年 チリ国マポチョ川流域農業開発計画

昭和 61 年~62 年 コロンビア国キンディオ盆地農業総合開発計画 昭和 63 年~H1 年 パラグアイ国ラコルメナ地区農村総合開発計画

平成 01 年~02 年 ボリヴィア国サンターナ農業農村開発計画

平成03年~04年 スリランカ国ワラウェ農業開発計画

平成04年~05年 ホンデュラス国へススデオトロ盆地農業開発計画

平成 06 年~06 年 エルサルヴァドル国環境整備部門基礎調査

平成 07 年~07 年 スリランカ国地域総合開発基礎調査

平成 08 年~09 年 ボリヴィア国アチャカチ地区農村農業開発計画

平成 09 年~11 年 チリ国環境配慮型首都近郊農業開発計画 平成 11 年~12 年 ボリヴィア国アチャカチ地区基本設計調査

平成 12 年 " 実施設計調査

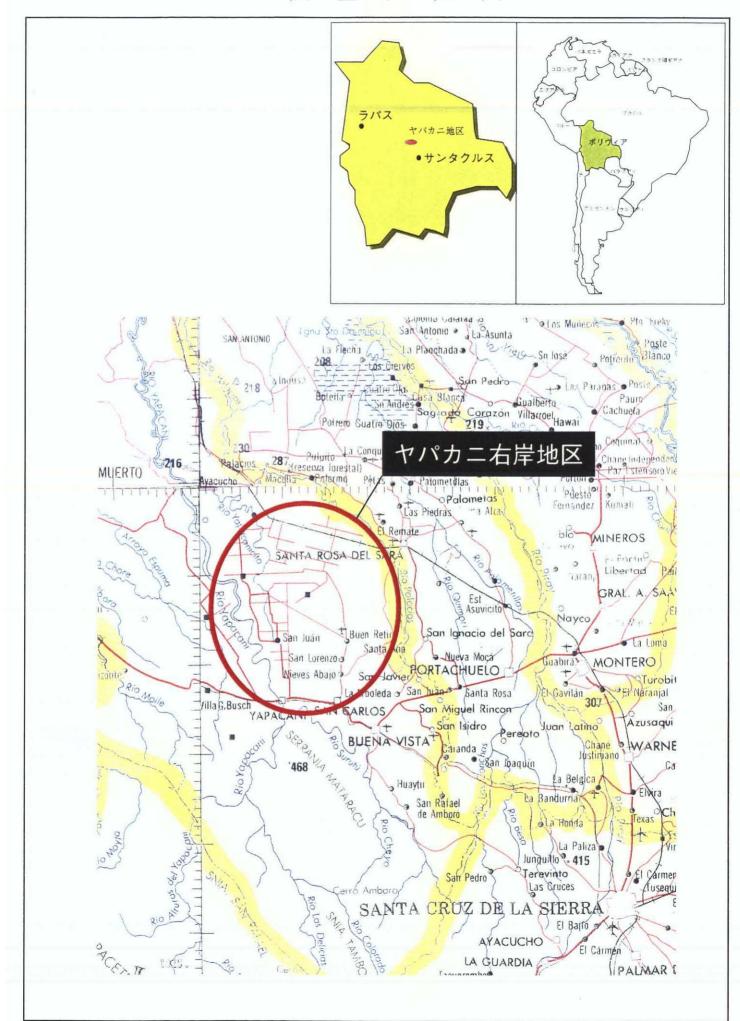
【調査日程】

日数	日程表	出発地	到着地	宿泊地	備考
1	H.13.02.02 金	成田		機中	出発(シアトル・マイアミ経由)
2	H.13.02.03 ±		ラハ°ス	ラハ゜ス	移動、ラハ・ス着
3	H.13.02.04 日			"	行程打ち合せ
4	H.13.02.05 月			"	情報収集、大使館表敬
5	H.13.02.06 火			"	JICA表敬、農牧省協議
6	H.13.02.07 水	ラハ°ス	ラハ°ス	サンタクルス	移動 (ラパ ス→サンタクルス)
7	H.13.02.08 木			"	サンタクルス県と協議
8	H.13.02.09 金			"	現地調査
9	H.13.02.10 土			"	n .
10	H.13.02.11 日	サンタクルス	ラハ°ス	ラハ°ス	移動(サンタクルス→ラパス)
11	H.13.02.12 月			"	大使館・JICA報告
12	H.13.02.13 火	ラパ [°] ス	キト ニーニー	キト	移動 (ボリヴィア→エクアドル)
13	H.13.02.14 水			"	大使館表敬、農牧省協議
					計画省協議、資料収集
14	H.13.02.15 木	キト	イバラ	キト	移動、CORSINOR協議
					現地調査
15	H.13.02.16 金	キト	ガヤキール	マチャラ	移動(キト→マチャラ)
					オロ州開発局協議
16	L	マチャラ	キト ニー	扑	現地調査、移動 (マチャラ→キト)
17	H.13.02.18 日				資料整理
18	H.13.02.19 月	キト ニーニー	マイアミ	マイアミ	移動日
19	H.13.02.20 火	マイアミ		機中	移動日(シアトル経由)
20	H.13.02.21 水		成田		帰国

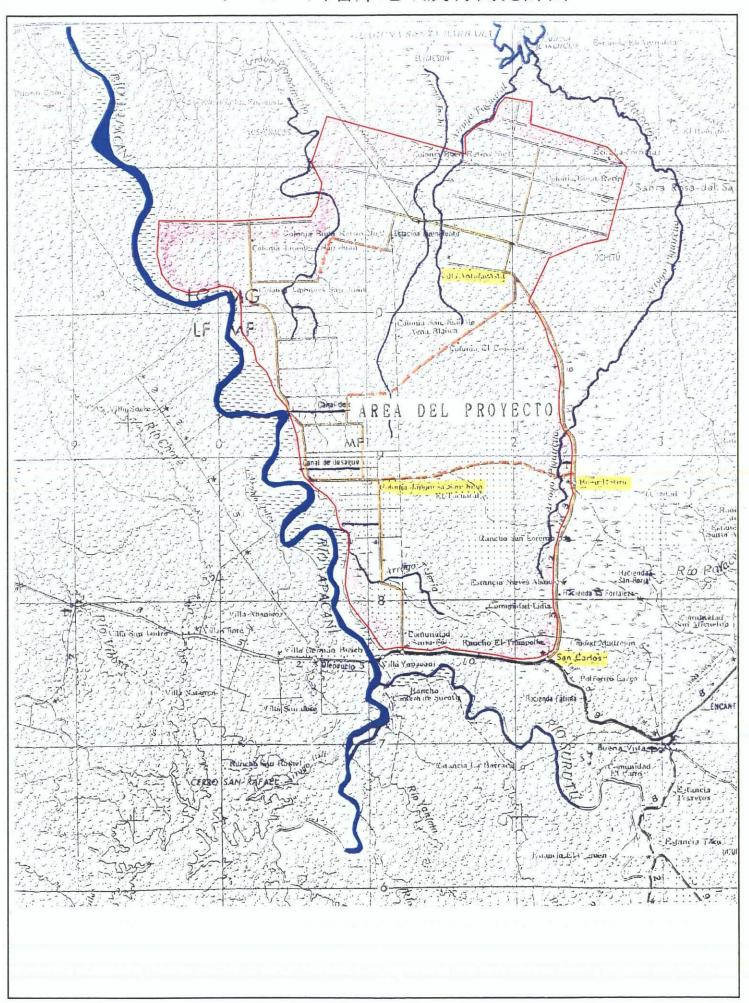
ボリヴィア国

ヤパカニ川右岸地域 農業復旧計画

調查位置図



ヤパカニ川右岸地域農村開発計画



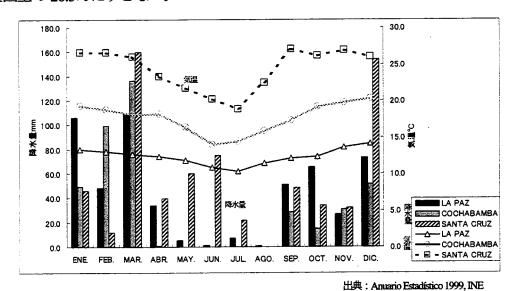
1. ボリヴィア国ヤパカニ川右岸地域農業復旧計画

1.1 ボリヴィア国の概要

(1) 自然概況

ボリヴィア共和国は、国土総面積は1.1 百万 km²であるが、地形及び気象条件により、山岳高原地帯(標高3,500m 以上)、渓谷地帯(1,000~2,500m)及び東部平原地帯(200~500m)の3 地帯に大別される。そのため自然条件も各地帯毎に大きく異なり、その結果として農業生産活動にも影響を与えている。アンデスの山岳高原地帯は典型的な高山気候で、平均気温の年変化が少なく寒冷・少雨な気候である。東部平原地帯は熱帯性気候で温暖多雨、平均気温は25℃である。各地帯とも雨季と乾季に分かれ、夏期にあたる11~3月が雨季となる。高原地帯にある首都ラパスの気温は、9.2℃(1月)、6.9℃(7月)、年降雨量668mmである。人口は、1999年の国家統計局(INE)によれば、約8.2百万人であり、山岳高原地帯に40%、渓谷地帯に25%、東部平原地帯に35%が居住している。

「ボ」国の土地利用は、農地・耕地: 238万 ha(2.2%)、牧場・牧草地: 2,650万 ha(24.1%)、森林: 5,800万 ha(52.8%)、その他: 2,156万 ha(20.9%)であり、農牧業に利用されている土地は、全国土の26.3%にすぎない。



(2) 社会・経済状況

「ボ」 国経済は、1989~1998年の10年間に、GDPにおいては年率4.2%、一人当りGDPでは年率1.8%の成長を遂げ、1998年のGDPは7,709.4百万US\$、一人当りGDPは968.8US\$である。しかし、農業セクターにおけるGDPは年率2.7%にすぎず、1998年における同部門のシェアーは15.4%と年々減少傾向にある。消費者物価指数においては、1991年以降鎮静傾向にあったが、近年は緩やかな上昇傾向を示し、それを反映して、対ドルレ

ートも低下を続けている。

貿易収支については、1990年以降完全な輸入超過となっており、1998年には655.3 百万US\$の入超となっている。対外総債務残高についてもあまり改善の傾向は見られず、1997年において5,244百万US\$であり、そのうち長期債務が4,570百万US\$と87%を占め、依然として国家財政は困難な状況にある。長期債務のうち二国間債務は1,420百万US\$、多国間債務は2,681百万US\$である。

このような財政危機に対して、「ボ」国政府は経済調整に基づく構造改革を実施し、小さな政府への変換を推進している。そのため、予算規模も年率 4%程度の伸びに押さえられている。1997年度の予算案では611.6百万US\$であり、農業セクターに対する投資額は18.4US\$(全体の3.0%)が見込まれている。

対外債務に対する返済額は、1997年において475.2百万US\$であり、そのうち二国間債務に対しては58.9百万US\$、多国間債務に対しては251.52百万US\$が割り当てられている。主要な経済指標は次のとおりである。

国家予算の推移

単位: 百万 US\$

					-1-1-0	,
区分	1994	1995	1996	1997	1998	1997/1994
(1)国家予算	505.4	519.7	588.7	611.6	***	1.21
(2)農業部門	16.2	17.3	19.5	18.4	***	1.14
(2)/(1)%	3.2%	3.3%	3.1%	3.0%	***	0.94

出典: Anuario Estadístico 1999, INE

主要経済指標

区		単位	1994	1995	1996	1997	1998	1998/1994
	GDP	百万 USS	6,450.3	6,752.1	7.046.5	7,360.1	7,709.4	1.20
GDP	一人当 GDP	USS	891.3	910.7	928.1	946.7	968.8	1.09
	農業部門%	%	17.1	16.9	16.4	17.1	15.4	0.90
消費者	物価指数	%	7.9	10.2	12.4	4.7	7.6	
	輸出	百万 US\$	985.1	1,041.4	1,132.0	1,166.5	1,104.0	1.12
貿易収支	輸入	百万 US\$	1,015.3	1,223.7	1,368.0	1,642.7	1,759.3	1.73
	収 支	百万US\$	-30.2	-182.3	-236.0	-476.2	-655.3	21.70
	長 期	百万US\$	4,313.0	4,707.3	4,550.1	4,570.0		(1.06)
	内二国間	百万 US\$	1,763.9	1,816.5	1,583.3	1,420.8	***	(0.81)
LEC 76	内多国間	百万USS	2,275.6	2,579.0	2,636.1	2,681.3		(1.18)
債 務	IMF	百万USS	263.6	267.8	276.1	248.1	***	(0.94)
	短期	百万 US\$	266.0	286.4	348.4	426.0	***	(1.60)
	総債務	百万 US\$	4,842.6	5,261.5	5,174.6	5,244.1	***	(1.08)
	債務返済額	百万US\$	347.4	371.7	412.9	475.2	***	(1.37)
債務返済額	内二国間	百万US\$	75.1	602	54.2	58.9	***	(0.78)
	内多国間	百万 USS	199.8	219.8	239.3	251.5	***	(1.26)
対ド	ルレート	Bs/US\$	4.7	4.9	5.2	5.4	5.6	1.19

出典: Basic Socio-Economic Data, IDB, 15 November 1999

「ボ」国における政治・経済的な概要は次のようにまとめられる。

ボリヴィア共和国の概要(1/2)

国名	Republica de Bolivia (Republic of Bolivia)
面積	109万 8581 平方キロ
資 源	スズ、鉛、亜鉛、アンチモン、タングステン、石油、天然ガス
人口	814万人(99年)
首都	法律上はスクレ(Sucre、14万人)。政府所在地はラパス(La Paz、78万人)
主要都市	サンタクルス (76万人)、コチャバンバ (44万人)
住民	ケチュア人 30%、アイマラ人 25%、先住民と白人の混血 30%、白人 15%
言語	スペイン語、ケチュア語、アイマラ語が公用語
宗教	カトリック教徒が95%
政治体制	立憲共和制。大統領が最高権力者
憲法	1967 年施行
元 首	大統領。ウゴ・バンセル・スアレス(Hugo BANZER Suarez)。任期 5 年。97 年 8 月
	6日就任。連続再選禁止
議会	2 院制。上院 27 議席、下院 130 議席。ともに直接選挙制。任期 5 年
内 閣	大統領が任免。首相なし
主要政党	民族民主行動、民族革命運動、革命左翼運動
国内総生産	85 億 5800 万ドル (98 年)
1人当たり	
国民総生産	1000ドル (同)
通貨	ボリビアノ (Boliviano) 1ドル=5. 92 ボリビアノ (99 年末)
	西部は 3000 メートル以上のアンデス高原地帯。北東部はアマゾン上流の低地で熱
概観	帯雨林気候、南東部平地は亜熱帯気候。
	紀元前・ティティカカ湖周辺にアイマラ民族が定住
	1300頃 ・ペルーから侵入したケチュア民族のインカ帝国が征服。
	1532 ・スペイン人が同帝国を征服。
	1821 ・ペルーが独立宣言
	1825 ・8月6日ペルーから分離独立。
	1879-83 ・太平洋戦争でペルーと同盟、チリに敗れ、太平洋岸アントファ
	ガスタを割譲、内陸国となる。
	1952 ・民族革命運動 (MNR) のビクトル・パスエステンソロが大統領
略史	に就任、民族主義的革命を推進した。
	1964-82 ・軍政
	1985 ・大統領に復帰したパスエステンソロは、自由化政策で超インフ
	レを一気に沈静化させた。
	10. 4 4
	1989 ・革命左翼運動(MIR)のハイメ・バスサモラが大統領当選、 1993 ・MNR のサンチェスが当選。
	1997 ・軍政時代(71―78年)に大統領を務めた民族民王行動(ADN) のウゴ・バンセルが決選投票でパスサモラ元大統領を下した。
	同時実施の上下両院議員選ではADNが第1党に。
元 首	大統領。直接選挙で過半数得票者がなければ、国会が上位2者のうちから選出する。
	99年1月現在の政党別議席数は次の通り。
	与党=ADN(中道右派、上院 11、下院 32)、MIR(中道左派、7、23)
議会	連帯市民連合(UCS、大衆政党、2、21)
	野党=MNR (中道左派、4、26)、CONDEPA (、大衆政党、3、19)、ボリビア自由
	運動党(MBL、中道左派、0、5)、左翼連盟(IU、左派、0、4)
a 사	最高裁判事 12 人は国会が選出。任期 10 年。各県に高裁、下級裁。
司法	死刑なし。
地方行政	9県(Departamento)で構成。知事は大統領が任命。

ボリヴィア共和国の概要(2/2)

	4・プライプ 八和国・列威女(02)
	キーフェル国防相の航空機購入に絡む汚職疑惑などで連立3与党の内紛が激化、99
	年6月、ナヤル内相が辞任、内閣が改造された。麻薬武器密輸容疑などで6月逮捕
政治	されたイタリア系マフィアの首謀者ディオダド容疑者は大統領のめいの夫で、軍部
以 111	との関係も明らかになり、政治問題化。国家警察組織の改造令が8月閣議承認され、
	国家警察、法医学調査研究所、検察庁の3機関に再編。司法警察 (PTI) は2000年
	末で消滅。汚職などで1200人を解任。
	米国、中南米諸国との協調が基本路線。99年6月アルゼンチンと移民協定を結ぶ。
外交	チリとは自由貿易協定などを結ぶが、太平洋へのアクセスを長年要求し、大使級の
	外交関係はなし。
	99年8月、米国から4500万ドルの麻薬対策支援と2350万ドルの経済援助を取り付
麻薬対策	けた。 コカインの原料のコカ葉の耕作面積は4万6900 ヘクタール(97年推定)で
	ペルー、コロンビアに次ぐ。政府は2002年までの栽培全廃を掲げる。
ガスパイプラ	99年2月9日、サンタクルスーカンピナス(ブラジル・サンパウロ州)間の開通式
イン	典が開かれ、4月からブラジルへの天然ガス輸出を開始。総延長2000キロ。
	1914年4月13日国交樹立。戦時断交を経て52年復交。日本人ボリビア移住100周
	年記念式典が99年6月30日サンタクルスで開催。日本の援助累計2000億円。99
対日関係	年はラパス母子保健病院への医療機器供与、小学校建設、地下水開発で無償援助を
	決める。98年の対日輸出は600万ドル、輸入は1億ドル。在留邦人234人、日系人
	約9500人 (98年10月)。
æ æ	選抜徴兵制 (1年)。総兵力3万2500人。陸軍2万5000人、海軍(海兵隊含む)4500
軍事	人、空軍3000人。99年国防予算は1億5000万ドル。
	99年6月パリでボリビア支援会合が開かれ、支援国は約10億ドルの財政援助を決
	定。主要貿易相手国は米国、英国、アルゼンチン。98年の輸出は宝飾品、金、亜鉛、
財政・経済	大豆、スズなど13億ドル、輸入は機械、電気製品など22億ドルで、貿易赤字は9
XIPX PELIN	億ドルに拡大。国内総生産(GDP)成長率は4.7%、インフレ率は4.4%と安定。
	98年末の対外債務残高は44億ドル。外貨準備高は10億ドル。
	義務教育は6-17歳で無料。国立大学は各県1校。識字率86%(98年)。主要紙は
社会・文化	エルディアリオ、プレセンシア(カトリック系)、ララソン。ラジオ 245 局、テレ
	ビ48 局。
	© TO 1990

出典:時事通信

(3) 他の援助国、国際機関等の計画

「ボ」国は重債務国であり、パリクラブ債権国会議において過去6回の債務救済措置が実施されてきたが、1996年には対外債務残高が約44億US\$に達した。そのため、1997年9月に、世銀/IMFによる重債務貧困国債務イニシアティブ(HIPIC Debt Initiative)の適応国となり、多国間および二国間援助において合計4億5千万米ドルの債務削減が合意された。このような状況において、現在経済調整に基づく各セクターの改革が進められており、各国際援助機関もこれに沿う形で協力を実施している。

国際援助機関による協力の概要は次のとおりである。

援助形態	援助機関	援助の概要						
	世界銀行	教育改革、保健改革及び法制度改革等に対して資金的・技術的支援を行い、「ボ」国に対する最大支援機関 社会投資基金(FIS)への最大資金拠出機関						
I=TON-LAKER	欧州共同体委員会 (EU)	教育改革、基礎衛生分野(飲料水確保)、流域管理、農業、産業振興等の プロジェクトを実施						
国際機関	国連開発計画 (UNDP)	国家行政の近代化のための各種支援事業 農業、産業、運輸、通信、保健及び教育等のプロジェクト実施						
	米州開発銀行 (IDB)	保健改革及び教育改革への資金援助 現在「統合的基礎保健サービスおよびセクターの組織強化プログラム」 を実施						
	米国(USAID)	民主化、経済活動参画への機会、保健、環境、麻薬対策を協力の柱として支援						
二国間援助	ドイツ(GTZ)	「ボ」国をパイロット国として「参加型開発と良い統治」を促進するための援助を積極的に実施 国家近代化(地方分権化、大衆参加法、法制度整備)、社会インフラ整備 (教育改革、基礎衛生・保健)、農村開発、環境保全、中小企業への小規 模融資を実施						
	オランダ	「参加型開発」に重点をおいたプログラムの実施 特に、国家および市町村開発に重点を置いた支援を実施						
	スイス	「農村生産性向上」および「天然資源の持続的運営」分野を主体に実施						

出典: Anuario Estadístico 1999, VIPFE

(4) わが国の援助実施状況

わが国の「ボ」国に対する経済技術協力は、1960年代に開始され、1997年度までの累計は、技術協力: 39,258百万円、無償資金協力: 56,198百万円および有償資金協力: 105,843百万円となっている。

これまでの技術協力は、農牧業、保健・医療等の分野で、特に貧困層の地位向上を目的とした支援を行っており、開発調査においては無償資金協力との連携を視野に入れた計画策定を実施している。無償資金協力においては、保健・医療、農業、居住環境等の基礎生活分野を中心に行っているほか、近年は「ボ」国に債務削減措置が適応されており、新規の円借款供与を停止している状況にあることから、農道整備、空港管制塔施設等の経済インフラ分野に対する協力も実施している。

農業分野への援助は食料増産援助を中心として、7件の無償資金援助が実施された。 そのうち5件は地方農村部の農道整備(ポトシ、ラ・パス、チュキサカおよびオルロの全 62路線、2,637km)であり、農村部地域住民の生活・文化および経済の向上に貢献してい る。プロジェクト技術協力としては水産・畜産分野を中心として4件実施され、現在住民 参加による土壌侵食防止計画が実施されている。開発調査としては、6件の農業開発計画 調査が実施されており、本案件の母体となった「ラ・パス県アチャカチ地区農村農業開発 計画」が1996年から1997年にかけて実施された。機材調達としては11件実施されており、農業基盤の基礎条件を改善するために種々の農業関連機材が供与されている。

これまでのわが国の「ボ」国に対する農業セクターへの援助実績は次のようにまとめられる。

農業セクターへの援助実績

	及来しノノ	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
協力形態	件名等	支出等
	食料增産援助	76.00 億円(1985-1998)
	養殖開発センター建設計画	8.05 億円(1986)
	コチャバ ンパ 州野菜種子増殖計画	14.16 億円(1987)
無償資金協力	ずり農道整備計画	7.58 億円(1989)
無頂貝亚協力	家畜繁殖改善計画	7.24 億円(1990)
	ラ・パス農道整備計画	7.67 億円(1990)
	チュキサカ及びタリハ農道整備計画	15.65 億円(1991)
	オルル農道整備計画	7.96 億円(1992)
	長期専門家派遣(全分野)	149名
	短期専門家派遣 (全分野)	105名
	第三国専門家(全分野)	5名 (1996 年度から開始)
	日系第三国専門家(全分野)	2名 (1997 年度から開始)
	チーム派遣実績(全分野)	1件
	研究協力(全分野)	1件
	青年海外協力隊(全分野)	429 名(1977-1999)内農林水産 67 名
		ボリヴィ7家畜繁殖改善(1987-1994)
技術協力	プロジェクト技術協力	ず リヴィア水産開発研究なグター(1991-1998)
	ノロシエクト技術協力	ポリヴィ7肉用牛改善計画(1996-2000)
		外バ渓谷住民造林・侵食防止計画(1998-2003)
		柑橘栽培地造成計画 1962
		チャパル農業開発計画 1976 - 1977
	99 72397*	サンタアナ地区農業農村開発計画 1988-1990
	開発調査	森林資源管理計画 1989-1991
		サンタクルス県農産物流通システム改善計画 (1993-1995)
		ラ・パス県アチャカチ地区農村農業開発計画 (1996-1997)
	測量機械 (1965)	1,652 千円(農林省農林開発企画庁)
	農機具 (1965)	520 千円(コチャバンバ州立果樹栽培試験場)
	灌漑ポンプ (1967)	2,622 千円(コチャバンバ州立果樹栽培試験場)
	測量用器具 (1969)	1,720 千円(農地改革院)
	水產養殖指導普及用機材 (1981)	38,753 千円(農牧省水産研究所)
機材調達	水產養殖機材(1982-83)	11,294 千円(農牧省水産研究所)
	農業機材 (1984)	41,026 千円(熱帯農業研究センター)
	稲作普及用機材 (1985)	4,387 千円(熱帯農業研究センター)
	水產養殖機材(1989)	72,442 千円(農牧省水産研究所)
	農産物加工技術研究用機材 (1997)	34,164 千円 (ガプリエル・レネ・モレノ大学)
	灌漑排水調査測定機材 (1997)	5,543 千円(農業農村開発省)

出典: JICA 年報 2000, JICA

(5) 農業状況と農業政策

「ボ」国の農業政策は、国家農業行政の主務官庁である農業・農牧・農村開発省(1996年当時は農牧庁)が、1993年に発表した農業生産振興のための基本戦略の一つ「農牧部門開発中期基本計画 1994-1997」の基本プログラムである「中規模農村都市農業開発計画(PRODARCI)」を受け継ぐ形で実施されてきている。現在は、1998年11月に発表された「国家農牧農村開発政策」により農業政策が推進されているが、基本的には地方分権化による大衆参加法を継承しているため、PRODARCIにより設定されたプロジェクトを継続発

展させる方向にある。

「国家農牧農村開発政策」の基本的な枠組みは次のとおりである。

- 総合的、持続的および参加型開発の理論的枠組において、農村部における貧困 の客観的原因の解決を図る。
- 国家食糧保証へ寄与する。
- 生産や生産性増加および生産や市場の基盤改善への貢献や、社会的促進環境に 向けた行動を支援する。
- 農村経済開発の推進、生産支援業務の改善、食糧生産やアグロインダストリーの連携強化の促進を進める。
- 南米大陸の統合や世界的グロバリゼーションの枠組において、競合力を伴う農産物の輸出を維持推進し、農産物や畜産物そしてアグロインダストリーの製品の輸出拡大や多様化の条件を整える。
- コカ栽培の撲滅を目指して代替作物の計画を推進し、主要な不法生産地区において集中的にその活動を実施し、農村の人口流出地区やコカ栽培のポテンシャルの高い地区においてプロジェクトを実施する。

「ボ」国における主用農産物の栽培面積の推移は次のようである。

unit:ha

TOTAL 1262,956 1,350,260 1,383,262 1,440,963 1,585,764 1,663,058 1,809,577 1,931,277 1,845,229 14. CEREALES 627,918 680,575 718,871 684,778 676,128 704,059 731,926 743,182 752,849 111. -Arroz enchala 114,560 125,013 125,235 136,389 129,965 130,966 126,176 142,063 124,751 100. -Cebada en grano 95,397 92,335 90,304 88,927 83,729 85,403 86,905 84,108 85,666 88. -Maiz en grano 234,666 281,129 287,140 287,830 272,557 278,228 276,721 249,750 263,633 111. -Quinua 38,791 38,700 38,518 38,196 36,790 37,493 38,680 37,714 35,963 93. -Sorgo 28,048 25,048 37,048 23,945 27,045 40,040 45,048 35,543 69,944 24. ESTIMULANTES 22,092 21,136 23,113 23,447 23,527 23,594 23,684 23,601 24,186 10. -Calé 22,092 22,136 23,113 23,447 23,527 23,594 23,684 23,601 24,186 10. -FRUTALES 53,575 55,399 54,357 54,442 56,275 55,798 56,843 57,279 57,502 10. -Vid 3,168 3,642 3,663 3,745 3,755 3,869 4,071 3,970 3,899 12. -HOHTALIZAS 44,669 44,113 43,271 43,561 43,209 46,180 48,302 47,454 48,371 10. -Arveja 12,990 12,241 12,259 12,665 12,562 12,996 13,668 13,463 13,852 10. -HOHTALIZAS 44,699 44,113 35,983 337,350 448,055 608,661 653,932 766,563 873,120 782,578 24,449 1,518 10. -India 27,260 27,524 26,984 26,230 25,247 26,827 27,681 27,274 27,875 10. -Arveja 12,990 12,241 12,259 12,665 12,562 12,996 13,668 13,463 13,850 10. -India 4,469 43,48 4,048 4,636 5,400 6,357 6,953 6,717 6,644 14. INDUSTRIALES 134,518 359,983 337,350 448,055 608,661 653,932 766,563 873,120 782,578 24,864 11. -Arveja 12,990 12,241 12,259 12,665 12,562 12,996 13,668 13,463 13,850 10. -Arveja 12,990 12,241 12,259 12,665 12,562 12,996 13,668 13,463 13,850 10. -Arveja 12,990 12,241 12,259 12,665 12,562 12,996 13,668 13,463 13,850 10. -Arveja 12,990 12,241 12,259 12,665 12,562 12,996 13,668 13,463 13,850 10. -Arveja 12,990 12,241 12,259 12,665 12,562 12,996 13,668 13,463 13,650 10. -Arveja 12,990 12,241 12,259 12,665 12,562 12,996 13,668 13,463 13,850 10. -Arveja 12,990 12,418 12,990 12,418 12,418 11,000 10. -Arveja 12,990 12,418 12,418 12,418 12,418 12,418 12											
TOTAL 1,252,956 1,350,260 1,363,252 1,440,963 1,585,764 1,663,068 1,809,577 1,931,277 1,845,229 144 CEREALES 627,918 680,575 718,871 684,778 676,128 704,059 731,926 743,182 752,849 111 - Arroz en chala 114,560 125,013 125,235 136,389 129,985 130,966 126,176 142,063 124,751 100 - Cebada en grano 95,397 92,335 90,304 88,927 83,729 85,403 86,905 84,108 85,666 88 - Maiz en grano 234,696 281,129 287,140 287,830 272,567 278,228 276,721 249,750 263,633 111 - Culinua 38,791 38,700 38,518 38,196 36,790 37,493 38,680 37,714 35,963 - Sorgo 28,048 25,048 37,048 23,945 27,045 40,040 45,048 35,543 69,944 - Trigo 116,426 118,350 140,626 109,491 126,012 131,929 158,396 194,004 172,892 144 - ESTIMULANTES 22,092 22,136 23,113 23,447 23,527 23,594 23,684 23,601 24,186 100 - Calée 22,092 22,136 23,113 23,447 23,527 23,594 23,684 23,601 24,186 100 - FRUTALES 53,575 55,399 54,357 54,442 56,275 55,798 56,843 57,279 57,502 100 - Barrano 18,099 19,033 18,371 15,759 17,023 15,799 15,314 15,836 16,127 88 - Haba 22,308 32,724 32,323 34,938 35,497 33,130 37,458 37,473 37,476 111 - HORTALIZAS 44,689 44,113 43,271 43,561 43,209 46,180 48,302 47,454 48,371 100 - HORTALIZAS 44,689 44,113 43,271 43,561 43,209 46,180 48,302 47,454 48,371 100 - HORTALIZAS 14,689 36,948 40,048 46,36 5,400 6,357 6,953 6,717 6,644 14 INDUSTRIALES 314,518 399,983 337,350 48,805 60,861 653,932 766,563 873,120 782,578 24 - Rigodon 16,803 26,280 11,680 18,255 26,468 72,785 12,785 12,785 100 - Carla de Azúcar 83,669 79,855 81,555 80,015 88,510 88,860 91,874 86,764 85,814 100 - Carla de Azúcar 83,669 79,855 81,555 80,015 88,510 88,860 91,874 86,764 85,814 100 - Soya (1) 193,2389 221,931 213,674 316,689 428,364 159,107 161,261 165,670 158,464 9 - Papa 140,063 136,887 134,894 133,660 124,965 125,703 127,662 131,787 124,848 8 - FORRAJES 17,816 18,871 18,949 19,993 19,900 20,388 20,991 20,971 21,279 115	CULTIVOS	1990-1991	1991-1992	1992-1993	1993-1994	1994-1995	1995-1996	1996-1997	1997-1998	1998-1999	1999/1991
CEREALES 627,918 680,575 718,871 684,778 676,128 704,059 731,926 743,182 752,849 111 Armoz en chala 114,560 125,013 125,235 136,339 129,965 130,966 126,176 142,063 124,751 100 Cebada en grano 95,397 92,335 90,304 88,927 83,729 85,403 86,905 84,108 85,666 88 Maiz en grano 234,696 281,129 287,140 287,830 272,567 278,228 276,721 249,750 263,633 111 Quínua 38,791 38,700 38,518 38,196 36,790 37,493 38,680 37,714 35,963 9 Sorgo 28,048 25,048 37,048 23,945 27,045 40,040 45,048 35,543 69,944 24 Trigo 116,426 118,350 140,626 109,491 126,012 131,929 158,386 194,004 172,892 14 ESTIMULANTES 22,092 22,136 23,113 23,447 23,527 23,594 23,684 23,601 24,186 100 FRUTALES 53,575 55,399 54,357 54,442 56,275 55,798 56,843 57,279 57,502 100 Plátano 32,308 32,724 32,323 34,938 35,497 36,130 37,458 37,473 37,476 111 Vid 3,168 3,642 3,663 3,745 3,755 3,899 4,071 3,970 3,899 12 HORTALIZAS 44,689 44,113 43,271 43,561 43,209 4,610 48,302 47,454 48,371 10 Arveja 12,960 12,241 12,259 12,695 12,562 12,961 31,668 13,463 13,852 10 Floratie 4,469 4,348 4,048 4,636 5,400 6,357 6,953 6,717 6,644 11 INDUSTRIALES 31,518 359,963 337,350 448,055 608,661 653,932 766,563 873,120 782,578 10 Arveja 12,960 12,241 12,259 12,695 12,562 12,968 13,668 13,463 13,852 10 Caña de Azúcar 83,669 79,835 81,585 80,015 86,510 88,860 91,874 86,764 85,814 10 Soya (1) 193,289 21,313 13,674 316,689 428,336 428,336 522,250 581,667 552,550 28. - TUBÉRICULOS 172,348 189,183 167,341 166,687 158,064 159,107 161,261 116,667 158,464 9 Yuca 32,295 32,296 32,447 33,067 33,090 20,338 20,998 20,971 21,279 118.											
- Arroz en chala	TOTAL	1,252,956	1,350,260	1,363,252	1,440,963	1,585,764	1,663,058				147.3
- Cebada en grano 95,397 92,335 90,304 88,927 83,729 85,403 86,905 84,108 85,666 88 - Maiz en grano 234,696 281,129 287,140 287,830 272,567 278,228 276,721 249,750 263,633 111 - Quínua 38,791 38,700 38,518 38,196 36,790 37,493 38,680 37,714 35,963 99, 38,690 116,426 118,350 140,626 109,491 126,012 131,929 158,396 194,004 172,892 144 - Trigo 116,426 118,350 140,626 109,491 126,012 131,929 158,396 194,004 172,892 144 - ESTIMULANTES 22,092 22,136 23,113 23,447 23,527 23,594 23,684 23,601 24,186 100,	CEREALES	627,918	680,575	718,871	684,778		,				119.9
- Maiz en grano 234,696 281,129 287,140 287,830 272,567 278,228 276,721 249,750 263,633 11: - Cuínua 38,791 38,700 38,518 38,196 36,790 37,493 38,680 37,714 35,963 93 Sorgo 28,048 25,048 37,048 23,945 27,045 40,040 45,048 35,543 69,944 24 Trigo 116,426 118,350 140,626 109,491 126,012 131,929 158,396 194,004 172,892 14. ESTIMULANTES 22,092 22,136 23,113 23,447 23,527 23,594 23,684 23,601 24,186 100 Café 22,092 22,136 23,113 23,447 23,527 23,594 23,684 23,601 24,186 100. FRUTALES 53,575 55,399 54,357 54,442 56,275 55,798 56,843 57,279 57,502 107 Pátano 18,099 19,033 18,371 15,759 17,023 15,799 15,314 15,836 16,127 8 Pátano 32,308 32,724 32,323 34,938 35,497 36,130 37,458 37,473 37,476 111 Vid 3,168 3,642 3,663 3,745 3,755 3,869 4,071 3,970 3,899 12. HOHTALIZAS 44,689 44,113 43,271 43,561 43,209 46,180 48,302 47,454 48,371 10 Arveja 12,960 12,241 12,259 12,695 12,562 12,996 13,668 13,463 13,852 10 Haba 27,260 27,524 26,964 26,230 25,247 26,827 27,681 27,274 27,875 10 Flormatie 4,469 4,348 4,048 4,636 5,400 6,357 6,953 6,717 6,644 14. INDUSTRIALES 314,518 359,983 337,350 448,055 608,661 653,932 766,563 873,120 782,578 24. INDUSTRIALES 10,540 11,680 18,255 24,185 50,093 52,281 50,291 31,707 18 Caña de Azúcar 83,669 79,835 81,585 80,015 86,510 88,860 91,874 86,764 85,814 10 Caña de Azúcar 83,669 79,835 81,585 80,015 86,510 88,860 91,874 86,764 85,814 10 Caña de Azúcar 10,217 21,500 20,155 23,031 60,000 41,000 89,000 143,350 101,500 99 Caña de Azúcar 10,217 21,500 20,155 23,031 60,000 41,000 89,000 143,350 101,500 99 Caña de Azúcar 10,217 21,500 20,155 23,031 60,000 41,000 89,000 143,350 101,500 99 Caña de Azúcar 10,217 21,500 20,155 23,031 60,000 41,000 89,000 143,350 101,500 99 Caña de Azúcar 10,217 21,500 20,155 23,031 60,000 41,000 89,000 143,350 101,500 99 Caña de Azúcar 10,217 21,500 20,155 23,031 60,000 41,000 89,000 143,350 101,500 99 Caña de Azúcar 10,217 21,500 20,155 23,031 60,000 41,000 89,000 143,350 101,500 99 Caña de Azúcar 10,217 21,500 20,155 23	 Arroz en chala 	114,560	125,013	125,235	136,389	•		The same of the sa			108.9
- Quínua 38,791 38,700 38,518 38,196 36,790 37,493 38,680 37,714 35,963 9.94 - Sorgo 22,048 25,048 37,048 23,945 27,045 40,040 45,048 35,543 69,944 24 - Trigo 116,426 118,350 140,626 109,491 126,012 131,929 158,396 194,004 172,892 144 - STIMULANTES 22,092 22,136 23,113 23,447 23,527 23,594 23,684 23,601 24,186 100 - Calé 22,092 22,136 23,113 23,447 23,527 23,594 23,684 23,601 24,186 100 - FRUTALES 53,575 55,399 54,357 54,442 56,275 55,798 56,843 57,279 57,502 100 - Banano 18,099 19,033 18,371 15,759 17,023 15,799 15,314 15,836 16,127 88 - Prétano 32,308 32,724 32,323 34,938 35,497 36,130 37,458 37,473 37,476 110 - Vid 3,168 3,642 3,663 3,745 3,755 3,869 4,071 3,970 3,899 122 - HOFITALIZAS 44,689 44,113 43,271 43,561 43,209 46,180 48,302 47,454 48,371 100 - Arveja 12,960 12,241 12,259 12,695 12,562 12,996 13,668 13,463 13,852 100 - Haba 27,260 27,524 26,964 26,230 25,247 26,827 27,681 27,274 27,875 100 - Tormate 4,469 4,348 4,048 4,636 5,400 6,357 6,953 6,717 6,644 14 INDUSTRIALES 314,518 359,963 337,350 448,055 608,661 653,932 766,563 873,120 782,578 24 - Algodón 16,803 26,280 11,680 18,255 24,185 50,093 52,281 50,291 31,707 18 - Caría de Azúcar 83,669 79,835 81,585 80,015 86,510 88,860 91,874 86,764 85,814 10,057 10,058 10,058 10,058 10,058 10,058 10,058 10,050 10,437 10,256 10,065 9,640 11,016 11,158 11,048 11,007 10, - Soya (1) 193,289 221,931 213,674 316,689 428,326 462,963 522,50 581,667 552,550 28 TUBEFICULOS 172,348 169,183 167,341 166,687 158,064 159,107 161,251 165,670 158,464 9 - Yuca 32,295 32,296 32,447 33,027 33,099 33,404 33,599 33,883 33,616 10 FORRAJES 17,816 18,871 18,849 19,993 19,900 20,388 20,998 20,971 21,279 115	 Cebada en grano 	95,397	92,335	90,304	88,927	83,729	85,403	86,905			89.8
- Sorgo 28,048 25,048 37,048 23,945 27,045 40,040 45,048 35,543 69,944 24, 17igo 116,426 118,350 140,626 109,491 126,012 131,929 158,396 194,004 172,892 144, 186 100, 186, 186, 186, 186, 186, 186, 186, 186	 Maíz en grano 	234,696	281,129	287,140	287,830	272,567				10-10-100500 100001	112.3
- Trigo 116,426 118,350 140,626 109,491 126,012 131,929 158,396 194,004 172,892 144 ESTIMULANTES 22,092 22,136 23,113 23,447 23,527 23,594 23,684 23,601 24,186 100 - Caté 22,092 22,136 23,113 23,447 23,527 23,594 23,684 23,601 24,186 100 FRUTALES 53,575 55,399 54,357 54,442 56,275 55,798 56,843 57,279 17,502 107 - Banano 18,099 19,0033 18,371 15,759 17,023 15,799 15,314 15,836 16,127 88 - Pátano 32,308 32,724 32,323 34,938 35,497 36,130 37,458 37,473 37,476 110 - Vid 3,168 3,642 3,663 3,745 3,755 3,869 4,071 3,970 3,899 12 HORTALIZAS 44,689 44,113 43,271 43,561 43,209 46,180 48,302 47,454 48,371 100 - Arveja 12,960 12,241 12,259 12,695 12,562 12,996 13,668 13,463 13,852 100 - Haba 27,260 27,524 26,964 26,230 25,247 26,827 27,681 27,274 27,675 100 - Tomate 4,469 4,348 4,048 4,636 5,400 6,357 6,963 6,717 6,644 14 INDUSTRIALES 314,518 359,983 337,350 448,055 608,661 653,932 766,563 873,120 782,578 24 - Algodón 16,803 26,280 11,680 18,255 24,185 50,093 52,281 50,291 31,707 188 - Girasol 10,217 21,500 20,155 23,031 60,000 41,000 89,000 143,350 101,500 99 - Mani 10,540 10,437 10,256 10,065 9,640 11,016 11,158 11,048 11,007 10 - Soya (1) 193,289 221,931 213,674 316,689 428,326 462,963 522,250 581,667 552,550 28 TUBERCULOS 172,348 169,183 167,341 166,687 158,064 159,107 161,261 165,670 158,464 9 - Yuca 32,295 32,296 32,447 33,069 19,990 20,388 20,998 20,971 21,279 115	- Quínua	38,791	38,700	38,518	38,196	36,790	37,493	38,680		(- (- (- (- (- (- (- (- (- (-	927
- Trigo	-Sorgo	28,048	25,048	37,048	23,945	27,045	40,040	45,048	35,543	69,944	249.4
- Café 22,092 22,136 23,113 23,447 23,527 23,594 23,684 23,601 24,186 100 FRUTALES 53,575 55,399 54,357 54,442 56,275 55,798 56,843 57,279 57,502 100 - Banano 18,099 19,033 18,371 15,759 17,023 15,799 15,314 15,836 16,127 88 - Plátano 32,308 32,724 32,323 34,938 35,497 36,130 37,458 37,473 37,476 110 - Vid 3,168 3,642 3,663 3,745 3,755 3,869 4,071 3,970 3,899 12 - HOPTIALIZAS 44,689 44,113 43,271 43,561 43,209 46,180 48,302 47,454 48,371 100 - Aveja 12,960 12,241 12,259 12,695 12,562 12,996 13,668 13,463 13,852 100 - Haba 27,260 27,524 26,964 26,230 25,247 26,827 27,681 27,274 27,875 100 - Tornate 4,469 4,348 4,048 4,636 5,400 6,357 6,953 6,717 6,644 144 - INDUSTRIALES 314,518 359,983 337,350 448,055 608,661 653,932 766,563 873,120 782,578 244 - Algodón 16,803 26,280 11,680 18,255 24,185 50,093 52,281 50,291 31,707 186 - Caña de Azúcar 83,669 79,835 81,585 80,015 86,510 88,860 91,874 86,764 85,814 100 - Girasol 10,217 21,500 20,155 23,031 60,000 41,000 89,000 143,350 101,500 990 - Maní 10,540 10,437 10,256 10,065 96,400 11,016 11,158 11,048 11,007 10 - Soya (1) 193,289 221,931 213,674 316,689 428,326 462,963 522,250 581,667 552,550 28 - Papa 140,053 136,887 134,894 133,660 124,965 125,703 127,662 131,787 124,848 89 - Yuca 32,295 32,296 32,447 33,027 33,099 33,404 33,599 33,883 33,616 10		116,426	118,350	140,626	109,491	126,012	131,929	158,396	194,004	172,892	148.5
FRUTALES 53,575 55,399 54,357 54,442 56,275 55,798 56,843 57,279 57,502 100 - Banano 18,099 19,033 18,371 15,759 17,023 15,799 15,314 15,836 16,127 88 - Plátano 32,308 32,724 32,323 34,938 35,497 36,130 37,458 37,473 37,476 111 - Vid 3,168 3,642 3,663 3,745 3,755 3,869 4,071 3,970 3,899 12 - HORTALIZAS 44,689 44,113 43,271 43,561 43,209 46,180 48,302 47,454 48,371 100 - Aveja 12,960 12,241 12,259 12,695 12,562 12,996 13,663 13,463 13,852 100 - Haba 27,260 27,524 26,964 26,230 25,247 26,827 27,681 27,274 27,875 100 - Tornate 4,469 4,348 4,048 4,636 5,400 6,357 6,953 6,717 6,644 144 - INDUSTRIALES 314,518 359,983 337,350 448,055 608,661 653,932 766,563 873,120 782,578 244 - Algodón 16,803 26,280 11,680 18,255 24,185 50,093 52,281 50,291 31,707 186 - Caña de Azúcar 83,669 79,835 81,585 80,015 86,510 88,860 91,874 86,764 85,814 100 - Caña de Azúcar 83,669 79,835 81,585 80,015 86,510 88,860 91,874 86,764 85,814 100 - Girasol 10,217 21,500 20,155 23,031 60,000 41,000 89,000 143,350 101,500 990 - Maní 10,540 10,437 10,256 10,065 9,640 11,016 11,158 11,048 11,007 100 - Soya (1) 193,289 221,931 213,674 316,689 428,326 462,963 522,250 581,667 552,550 280 - Papa 140,053 136,887 134,894 133,660 124,965 125,703 127,662 131,787 124,848 88 - Yuca 32,295 32,296 32,447 33,027 33,099 33,404 33,599 33,883 33,616 10	ESTIMULANTES	22,092	22,136	23,113	23,447	23,527	23,594	23,684	23,601	24,186	109.5
- Banano 18,099 19,033 18,371 15,759 17,023 15,799 15,314 15,836 16,127 88 1,127 - Plátano 32,308 32,724 32,323 34,938 35,497 36,130 37,458 37,473 37,476 110 110 110 110 110,540 10,437 10,256 10,065 9,640 11,016 11,158 11,048 11,007 10 10,540 17,238 169,831 10,025 12,980 12,030 12,248 169,183 167,341 166,687 158,064 19,900 12,248 169,681 10,025 12,662 12,960 13,663 13,463 13,852 10 10 10 10,540 10,437 10,256 10,065 9,640 11,016 11,158 11,048 11,007 10 10,540 193,289 221,931 213,664 133,669 125,703 127,662 131,787 124,848 8 12,960 17,816 18,871 18,949 19,993 19,900 20,388 20,998 20,971 21,279 115	-Café	22,092	22,136	23,113	23,447	23,527	23,594	23,684	23,601	24,186	109.5
- Plátano 32,308 32,724 32,323 34,938 35,497 36,130 37,458 37,473 37,476 110 - Vid 3,168 3,642 3,663 3,745 3,755 3,869 4,071 3,970 3,899 122 HOFITALIZAS 44,689 44,113 43,271 43,561 43,209 46,180 48,302 47,454 48,371 100 - Arveja 12,960 12,241 12,259 12,695 12,562 12,996 13,668 13,463 13,852 100 - Haba 27,260 27,524 26,964 26,230 25,247 26,827 27,681 27,274 27,875 100 - Tomate 4,469 4,348 4,048 4,636 5,400 6,357 6,953 6,717 6,644 144 INDUSTRIALES 314,518 359,983 337,350 448,055 608,661 653,932 766,563 873,120 782,578 244 - Algodón 16,803 26,280 11,680 18,255 24,185 50,093 52,281 50,291 31,707 180 - Caña de Azúcar 83,669 79,835 81,585 80,015 86,510 88,860 91,874 86,764 85,814 100 - Maní 10,540 10,437 10,256 10,065 9,640 11,016 11,158 11,048 11,007 10 - Soya (1) 193,289 221,931 213,674 316,689 428,326 462,963 522,250 581,667 552,550 28 TUBÉRCULOS 172,348 169,183 167,341 166,687 158,064 159,107 161,261 165,670 158,464 9 - Yuca 32,295 32,296 32,447 33,027 33,099 33,404 33,599 33,883 33,616 10 FORRAJES 17,816 18,871 18,949 19,993 19,900 20,388 20,998 20,971 21,279 115	FRUTALES	53,575	55,399	54,357	54,442	56,275	55,798	56,843	57,279	57,502	107.3
- Plátano 32,308 32,724 32,323 34,938 35,497 36,130 37,458 37,473 37,476 110 - Vid 3,168 3,642 3,663 3,745 3,755 3,869 4,071 3,970 3,899 12 HORITALIZAS 44,689 44,113 43,271 43,561 43,209 46,180 48,302 47,454 48,371 100 - Arveja 12,960 12,241 12,259 12,695 12,562 12,996 13,668 13,463 13,852 100 - Haba 27,260 27,524 26,964 26,230 25,247 26,827 27,881 27,274 27,875 100 - Tornate 4,469 4,348 4,048 4,636 5,400 6,357 6,953 6,717 6,644 144 INDUSTRIALES 314,518 359,983 337,350 448,055 608,661 653,932 766,563 873,120 782,578 244 - Algodón 16,803 26,280 11,680 18,255 24,185 50,093 52,281 50,291 31,707 - Caña de Azúcar 83,669 79,835 81,585 80,015 86,510 88,860 91,874 86,764 85,814 100 - Girasol 10,217 21,500 20,155 23,031 60,000 41,000 89,000 143,350 101,500 99 - Maní 10,540 10,437 10,256 10,065 9,640 11,016 11,158 11,048 11,007 10 - Soya (1) 193,289 221,931 213,674 316,689 428,326 462,963 522,250 581,667 552,550 28 TUBÉRCULOS 172,348 169,183 167,341 166,687 158,064 159,107 161,261 165,670 158,464 9 - Yuca 32,295 32,296 32,447 33,027 33,099 33,404 33,599 33,883 33,616 10 FORRAJES 17,816 18,871 18,949 19,993 19,900 20,388 20,998 20,971 21,279 115	- Banano	18,099	19,033	18,371	15,759	17,023	15,799	15,314	15,836	16,127	89.1
HORTALIZAS 44,689 44,113 43,271 43,561 43,209 46,180 48,302 47,454 48,371 100 - Arveja 12,960 12,241 12,259 12,695 12,562 12,996 13,668 13,463 13,852 100 - Haba 27,260 27,524 26,964 26,230 25,247 26,827 27,681 27,274 27,875 100 - Tornate 4,469 4,348 4,048 4,636 5,400 6,357 6,963 6,717 6,644 144 INDUSTRIALES 314,518 359,983 337,350 448,055 608,661 653,932 766,563 873,120 782,578 244 - Algodón 16,803 26,280 11,680 18,255 24,185 50,093 52,281 50,291 31,707 180 - Caña de Azúcar 83,669 79,835 81,585 80,015 86,510 88,860 91,874 86,764 85,814 100 - Girasol 10,217 21,500 20,155 23,031 60,000 41,000 89,000 143,350 101,500 990 - Maní 10,540 10,437 10,256 10,065 9,640 11,016 11,158 11,048 11,007 10 - Soya (1) 193,289 221,931 213,674 316,689 428,326 462,963 522,250 581,667 552,550 280 TUBÉRCULOS 172,348 169,183 167,341 166,687 158,064 159,107 161,261 165,670 158,464 9 - Papa 140,053 136,887 134,894 133,660 124,965 125,703 127,662 131,787 124,848 80 - Yuca 32,295 32,296 32,447 33,027 33,099 33,404 33,599 33,883 33,616 10 FORIRAJES 17,816 18,871 18,949 19,993 19,900 20,388 20,998 20,971 21,279 115		32,308	32,724	32,323	34,938	35,497	36,130	37,458	37,473	37,476	116.0
- Arveja 12,960 12,241 12,259 12,695 12,562 12,996 13,668 13,463 13,852 100 11,000 11,000 10,500 10,	-Vid	3,168	3,642	3,663	3,745	3,755	3,869	4,071	3,970	3,899	123.1
- Haba 27,260 27,524 26,964 26,230 25,247 26,827 27,681 27,274 27,875 100 100 100 100 100 100 100 100 100 10	HORTALIZAS	44,689	44,113	43,271	43,561	43,209	46,180	48,302	47,454	48,371	108.2
-Tornate 4,469 4,348 4,048 4,636 5,400 6,357 6,963 6,717 6,644 144 INDUSTRIALES 314,518 359,983 337,350 448,055 608,661 653,932 766,563 873,120 782,578 244 140,050 16,803 26,280 11,680 18,255 24,185 50,093 52,281 50,291 31,707 184 185,000 10,217 21,500 20,155 23,031 60,000 41,000 89,000 143,350 101,500 984 11,000 10,437 10,256 10,065 9,640 11,016 11,158 11,048 11,007 100 10,437 10,437 10,256 10,065 9,640 11,016 11,158 11,048 11,007 100 10,437 10,256 10,669 428,326 462,963 522,250 581,667 552,550 284 10,065 1	- Arveja	12,960	12,241	12,259	12,695	12,562	12,996	13,668	13,463	13,852	106.9
INDUSTRIALES 314,518 359,983 337,350 448,055 608,661 653,932 766,563 873,120 782,578 244 - Algodón 16,803 26,280 11,680 18,255 24,185 50,093 52,281 50,291 31,707 184 - Caña de Azúcar 83,669 79,835 81,585 80,015 86,510 88,860 91,874 86,764 85,814 107 - Girasol 10,217 21,500 20,155 23,031 60,000 41,000 89,000 143,350 101,500 996 - Mani 10,540 10,437 10,256 10,065 9,640 11,016 11,158 11,048 11,007 104 - Soya (1) 193,289 221,931 213,674 316,689 428,326 462,963 522,250 581,667 552,550 288 - TUBÉRCULOS 172,348 169,183 167,341 166,687 158,064 159,107 161,261 165,670 158,464 994 - Papa 140,053 136,887 134,894 133,660 124,965 125,703 127,662 131,787 124,848 884 - Yuca 32,295 32,296 32,447 33,027 33,099 33,404 33,599 33,883 33,616 104 - FORRAJES 17,816 18,871 18,949 19,993 19,900 20,388 20,998 20,971 21,279 115 - Caña de Azúcar 83,669 79,835 84,855 84,865 86,764 85,814 107 - Caña de Azúcar 83,669 79,835 81,585 80,015 86,510 88,860 91,874 86,764 85,814 107 - Caña de Azúcar 83,669 79,835 81,585 80,015 86,510 88,860 91,874 86,764 85,814 107 - Caña de Azúcar 83,669 79,835 81,585 80,015 86,510 88,860 91,874 86,764 85,814 107 - Caña de Azúcar 83,669 79,835 81,585 80,015 86,510 88,860 91,874 86,764 85,814 107 - Caña de Azúcar 83,669 79,835 81,585 80,015 86,510 88,860 91,874 86,764 85,814 107 - Caña de Azúcar 83,669 79,835 81,585 80,015 86,510 88,860 91,874 86,764 85,814 107 - Caña de Azúcar 83,669 79,835 81,585 80,015 86,510 88,860 91,874 86,764 85,814 107 - Caña de Azúcar 83,669 79,835 80,015 86,510 88,860 91,874 86,764 85,814 107 80,700 89,000 143,350 101,500 101,500 101,500 101,500 101,500	- Haba	27,260	27,524	26,964	26,230	25,247	26,827	27,681	27,274	27,875	102.3
- Algodón 16,803 26,280 11,680 18,255 24,185 50,093 52,281 50,291 31,707 181 - Caña de Azúcar 83,669 79,835 81,585 80,015 86,510 88,860 91,874 86,764 85,814 100 - Girasol 10,217 21,500 20,155 23,031 60,000 41,000 89,000 143,350 101,500 990 - Mani 10,540 10,437 10,256 10,065 9,640 11,016 11,158 11,048 11,007 100 - Soya (1) 193,289 221,931 213,674 316,689 428,326 462,963 522,250 581,667 552,550 281 TUBÉRCULOS 172,348 169,183 167,341 166,687 158,064 159,107 161,261 165,670 158,464 9 - Papa 140,053 136,887 134,894 133,660 124,965 125,703 127,662 131,787 124,848 80 - Yuca 32,295 32,296 32,447 33,027 33,099 33,404 33,599 33,883 33,616 10 FORIRAJES 17,816 18,871 18,949 19,993 19,900 20,388 20,998 20,971 21,279 115	- Tomate	4,469	4,348	4,048	4,636	5,400	6,357	6,953	6,717	6,644	148.7
- Caña de Azúcar 83,669 79,835 81,585 80,015 86,510 88,860 91,874 86,764 85,814 107 - Girasol 10,217 21,500 20,155 23,031 60,000 41,000 89,000 143,350 101,500 993 - Maní 10,540 10,437 10,256 10,065 9,640 11,016 11,158 11,048 11,007 100 - Soya (1) 193,289 221,931 213,674 316,689 428,326 462,963 522,250 581,667 552,550 283 TUBÉRCULOS 172,348 169,183 167,341 166,687 158,064 159,107 161,261 165,670 158,464 9 - Papa 140,053 136,887 134,894 133,660 124,965 125,703 127,662 131,787 124,848 8 - Yuca 32,295 32,296 32,447 33,027 33,099 33,404 33,599 33,883 33,616 10 FORRAJES 17,816 18,871 18,949 19,993 19,900 20,388 20,998 20,971 21,279 115	INDUSTRIALES	314,518	359,983	337,350	448,055	608,661	653,932	766,563	873,120	782,578	248.8
- Caña de Azúcar 83,669 79,835 81,585 80,015 86,510 88,860 91,874 86,764 85,814 102 103 102,217 21,500 20,155 23,031 60,000 41,000 89,000 143,350 101,500 990 10,500 11,016 11,158 11,048 11,007 100 100 10,5	- Algodón	16,803	26,280	11,680	18,255	24,185	50,093	52,281	50,291	31,707	188.7
- Maní 10,540 10,437 10,256 10,065 9,640 11,016 11,158 11,048 11,007 10 - Soya (1) 193,289 221,931 213,674 316,689 428,326 462,963 522,250 581,667 552,550 28 10,065 172,348 169,183 167,341 166,687 158,064 159,107 161,261 165,670 158,464 9 - Papa 140,053 136,887 134,894 133,660 124,965 125,703 127,662 131,787 124,848 - Yuca 32,296 32,247 33,027 33,099 33,404 33,599 33,883 33,616 10 FORRAJES 17,816 18,871 18,949 19,993 19,900 20,388 20,998 20,971 21,279 115		83,669	79,835	81,585	80,015	86,510	88,860	91,874	86,764	85,814	102.6
- Soya (1) 193,289 221,931 213,674 316,689 428,326 462,963 522,250 581,667 552,550 281 TUBÉRCULOS 172,348 169,183 167,341 166,687 158,064 159,107 161,261 165,670 158,464 9 - Papa 140,053 136,887 134,894 133,660 124,965 125,703 127,662 131,787 124,848 85 - Yuca 32,295 32,296 32,447 33,027 33,099 33,404 33,599 33,883 33,616 10 FORRAJES 17,816 18,871 18,949 19,993 19,900 20,388 20,998 20,971 21,279 115	- Girasol	10,217	21,500	20,155	23,031	60,000	41,000	89,000	143,350	101,500	993.4
- Soya (1) 193,289 221,931 213,674 316,689 428,326 462,963 522,250 581,667 552,550 28 TUBÉRCULOS 172,348 169,183 167,341 166,687 158,064 159,107 161,261 165,670 158,464 9 - Papa 140,053 136,887 134,894 133,660 124,965 125,703 127,662 131,787 124,848 8 - Yuca 32,295 32,296 32,447 33,027 33,099 33,404 33,599 33,883 33,616 10 FORRAJES 17,816 18,871 18,949 19,993 19,900 20,388 20,998 20,971 21,279 115	- Maní	10,540	10,437	10,256	10,065	9,640	11,016	11,158	11,048	11,007	104.4
TUBÉRCULOS 172,348 169,183 167,341 166,687 158,064 159,107 161,261 165,670 158,464 9 - Papa 140,053 136,887 134,894 133,660 124,965 125,703 127,662 131,787 124,848 8 - Yuca 32,295 32,296 32,447 33,027 33,099 33,404 33,599 33,883 33,616 10 FORRAJES 17,816 18,871 18,949 19,993 19,900 20,388 20,998 20,971 21,279 115		193,289	221,931	213,674	316,689	428,326	462,963	522,250	581,667	552,550	285.9
- Papa 140,053 136,887 134,894 133,660 124,965 125,703 127,662 131,787 124,848 86 - Yuca 32,295 32,296 32,447 33,027 33,099 33,404 33,599 33,883 33,616 10 FORRAJES 17,816 18,871 18,949 19,993 19,900 20,388 20,998 20,971 21,279 115		172.348	169.183			158.064	159,107	161,261	165,670	158,464	91.9
-Yuca 32,295 32,296 32,447 33,027 33,099 33,404 33,599 33,883 33,616 10 FORRAJES 17,816 18,871 18,949 19,993 19,900 20,388 20,998 20,971 21,279 115		and the same of th			0 -0.00				131,787	124,848	89.1
FORRAJES 17,816 18,871 18,949 19,993 19,900 20,388 20,998 20,971 21,279 11			the state of the s	32,447	A 10 101 THE 10 IN 10	33,099	33,404	33,599	33,883	33,616	104.1
1012122								20,998	20,971	21,279	119.4
-Arara 17,816 18,871 18,949 19,993 19,900 20,388 20,398 20,971 21,2791 113	- Alfalfa	17,816	18,871	18,949	19,993	19,900	20,388	20,998	20,971	21,279	119.4

出典: Anuario Estadístico 1999, INE

「ボ」国における農業的土地利用の内訳を見ると、トウモロコシやコメに代表される穀類と、大豆、サトウキビや綿等の工業用作物の栽培のために、全農用地の83%が利用されている。1991年から1999年の間に約50万haの農地が新たに開発されているが、その殆どが工業的作物の新規栽培に利用されており、そのうち大豆とヒマワリの経営規模拡大に費やされたことになっている。

穀類においては、トウモロコシ(穀類分野に占める栽培面積割合35%)、小麦(同23%)、 コメ(同17%)、大麦(同11%)、工業用作物においては大豆(工業用作物分野に占める栽培面積割合71%)とマワリ(同13%)、サトウキビ(同11%)となっており、トウモロコシと大豆が大きな栽培品種といえる。

穀類と工業用作物に続く作物としては塊根類(ジャガイモ、ユカ)であるが、栽培 面積的に8.6%を占めるに過ぎない。また、野菜類や果物類等があるが全国的規模から見れ ば数パーセントを締めるに過ぎない。

栽培面積が減少している作物としては、大麦、キヌア、バナナ、ジャガイモ等の伝統的作物であり、商品価値の高い作物へと栽培形態が変化していることが伺える。

「ボ」国全体における農産物の生産状況は次のようにまとめられる。

unitton

											u
αυ	LTIVOS	1990-1991	1991-1992	1992-1993	1993-1994	1994-1995	1995-1996	1996-1997	1997-1998	1998-1999 (p)	1999/1991 %
CEREALES	Arroz en chala	240,770	229,292	222,594	247,333	264,612	343,520	255,586	296,253	180,065	74.8
	Cebada en grano	65,064	50,886	60,700	64,359	59,308	58,843	64,189	57,105	60,069	92.3
	Maíz en grano	390,952	429,713	503,481	537,025	493,533	515,439	498,414	390,605	482,911	123.5
	Quinua	19,651	16,858	19,129	19,465	18,814	23,498	26,366	20,291	22,498	114.5
	Sorgo	79,052	78,053	104,553	50,003	84,051	116,050	131,308	97,056	148,357	187.7
	Trigo	108,733	95,727	145,129	82,323	122,805	98,820	168,547	175,426	144,602	133.0
ESTIMULANTES	Caté	14,071	15,179	13,153	19,216	20,323	22,015	22,608	22,532	23,389	166.2
FRUTALES	Banano	138,906	142,971	145,196	100,700	150,928	147,689	146,204	150,613	158,052	113.6
	Plátano	325,882	325,825	308,052	328,515	339,191	346,206	366,607	357,065	365,892	1123
	Viid	17,688	18,795	20,223	21,028	20,146	21,738	23,718	21,421	22,141	125.2
HORTALIZAS	Arveja	17,582	14,601	14,870	16,514	16,417	17,339	19,501	16,729	19,322	109.9
	Haba	37,112	30,959	35,281	38,359	36,423	42,205	47,330	40,511	44,657	120.3
	Tomate	50,030	47,016	43,700	48,731	63,637	77,048	90,553	80,636	85,887	171.7
INDUSTRIALES	Algodón	8,630	6,310	7,856	9,421	13,914	27,989	22,468	20,301	14,282	165.5
	Caña de Azucar	3,880,186	3,408,106	2,954,243	3,368,295	3,898,760	4,263,629	3,927,832	3,445,583	3,358,495	86.6
	Girasoi	11,870	29,500	25,597	24,231	57,600	33,000	80,700	114,680	95,410	803.8
	Mani	12,248	10,416	10,575	10,613	9,611	11,895	13,088	11,617	12,231	99.9
	Soya	393,618	342,463	491,451	708,968	870,074	867,488	1,040,365	1,151,626	800,812	203.4
TUBÉRCULOS	Papa	691,935	603,062	616,036	631,999	604,735	625,794	659,150	590,530	633,336	91.5
	Yuca	364,054	324,498	311,994	292,921	298,772	301,779	314,988	307,889	328,198	902
FORRAJES	Alfalfa	139,082	117,358	119,510	126,716	123,000	132,655	142,528	131,088	139,994	100.7

出典: Anuario Estadístico 1999, INE

「ボ」国全体での比較によると、農地の約 60%を占める東部平原地帯の影響を強く受け、モノカルチャー的な様相を呈しているが、地域的に分析すれば、各地帯区分の特徴を生かした農業が展開されているといえる。しかし、伝統的な作物に対する栽培面積減少は高原地帯を中心として急速に進行しており、耕作放棄から離農、その結果としての都市圏への人口移動を示すもので、地方農村部に対する抜本的な活性化対策を講じることが必要であるといえる。

(6) 調査地区における農業の現状と問題点

サンタクルス県は、東部平原地帯に位置し、平均気温 24.3℃、年降水量 681.5mm であり、乾期は4月~9月、雨期は10月~3月と比較的明確な区分がある。乾期には気温も低下し、最低気温は7月で18.9℃となりいわゆる冬季を形成してる。雨期は高温多湿基間であり、この期間に降水量の大半をもたらすこととなる。地形は平坦であり、沖積層に覆われ、地形・土壌及び気候条件にも恵まれ、そのため広大な農牧業に適した土地を有していおり、大規模農業が発達してきた。人口も「ボ」国の22%を有し、ラパスに次ぐ大都市圏を形成している。県人口の63%が市街地に居住し、そのため農村部の人口密度は非常に低い。本県の農地面積は全国の約60%の113万 haを占め、商品生産型大規模経営を中心とし農牧業生産高は全国の約50%を占め、農牧業の生産基地として重要な位置にある。

サンタクルス県の気象概況(1999)

項	EN	E. [FEB.	MAR.	ABR.	MAY.	JUN.	JUL	AGO.	SEP.	ост.	NOV.	DIC.		
降水量(mn	1) 4	5.9	11.8	159.6	39.6	60.1	<i>7</i> 5.1	21.5	0.0	48.1	33.9	31.9	154.0	量水穀鶏	681.5
気温(℃)	2	6.6	26.6	26.0	23.3	21.7	20.2	18.9	22.5	27.1	26.2	26.9	26.0	平均気温	24.3

サンタクルス県の人口構成

DESCRIPCIÓN	1997			1998			1999			
	TOTAL	HOMBRE	MWERE	TOTAL	HOMBRE	MWERE	TOTAL	%	HOMBRS	MWERE
BOLMA	7,767,061	3,859,028	3,908,033	7,949,933	3,951,706	3,998,227	8,137,112		4,046,608	4,090,504
SANTACHUZ	1,651,951	838,590	813,361	1,703,901	864,803	839,098	1,757,410	100.0	891,798	865,611
Andrés ibáñez	1,009,379	500,114	509,265	1,052,603	521,620	530,983	1,097,298	62.4	543,860	553,439
Warnes	39,333	20,941	18,392	39,239	20,894	18,345	39,133	2.2	20,841	18,293
Velasco	49,338	25,946	23,393	50,321	26,467	23,855	51,306	29	26,989	24,318
ichil o	51,775	27,706	24,070	51,839	27,744	24,095	51,885	3.0	<i>27,77</i> 3	24,112
Buena Vista	11,283	6,121	5,162	11,297	6,129	5,168	11,307	0.6	6,136	5,172
San Carlos	19,197	10,213	8,984	19,220	10,227	8,993	19,237	1.1	10,237	9,000
Yapacani	21,295	11,372	9,923	21,322	11,388	9,934	21,341	1.2	11,400	9,941
Chiquitos	51,151	27,620	23,531	52,642	28,429	24,213	54,157	3.1	29,252	24,906
Sara	28,736	15,367	13,370	28,349	15,162	13,187	27,957	1.6	14,955	13,003
Cordillera	99,611	50,335	49,276	101,150	51,121	50,029	102,677	5.8	51,901	50,776
Vallegrande	26,692	13,612	13,080	26,478	13,505	12,973	26,256	1.5	13,394	12,862
Florida	22,250	11,993	10,257	21,983	11,851	10,132	21,712	1.2	11,706	10,006
O. Santistevan	110,119	56,668	53,451	110,376	56,810	53,567	110,596	6.3	56,931	53,664
Ñ. de Chávez	78,399	42,991	35,408	81,740	44,829	36,910	85,193	4.8	46,730	38,463
Angel Sandóval	11,247	6,093	5,154	11 <i>,2</i> 72	6,107	5,165	11,294	0.6	6,120	5,174
M. M. Caballero	16,472	8,701	7,771	16,425	8,677	7,748	16,372	0.9	8,650	7,722
Germán Busch	30,588	16,426	14,162	31,479	16,907	14,573	32,386	1.8	17,396	14,990
Guarayos	26,860	14,079	12,781	28,005	14,681	13,324	29,188	1.7	15,304	13,885

本県における総作付け面積は112.6万 ha であり、1999年において1990年の2.3倍に作付け面積が拡大している。大豆、砂糖きび、綿、米及びソルゴの生産高は、全国の7割以上を占めている。特に、近年著しく生産量が伸びている大豆、米及びヒマワリの生産基地として注目されている。

サンタクルス県における耕地面積の推移

unit:ha 20 [1999/1991/%]

CULTIVOS	1990-1991	1991-1992	1992-1993	1993-1994	1994-1995	1995-1996	1996-1997	1997-1998		1999/1991(%)
TOTAL	499,790	591,196	609,927	695,692	872,570	940,029	1,077,920	1,212,747	1,126,547	
CEREALES	182,411	228,603	270,136	243,362	258,507	280,405	305,333	330,987	337,730	
- Arroz en chala	72,318	82,930	83,500	97,748	88,000		83,776	99,977		, ,
- Cebada en grano	100	101	75	80	101	370	397	360	380	1
- Maíz en grano	43,500	78,637	84,390	86,515	89,000	96,705	99,300	79,900	90,650	
- Sorgo	28,000	25,000	37,000	23,901	27,000	40,000	45,000	35,500		I I
- Trigo	38,493	41,935	65,171	35,118	54,406	55,680	76,860	115,250	93,500	242.9
ESTIMULANTES	425	400	380	381	400	435	477	485	480	1
- Café	425	400	380	381	400	435	477	485	480	1129
FRUTALES	12,920	13,009	13,061	14,392	13,783	13,862	14,098	14,070		
- Banano	1,619	1,731	1,750	2,311	2,300	2,337	2,420	2,400	2,501	1 !
- Plátano	11,202	11,217	11,250	12,001	11,368	11,365	11,518	11,500	11,369	101.5
- Vid	99	61	61	80	115	160	160	170	182	183.8
HORTALIZAS	3,272	3,366	2,989	3,477	4,198	5,017	5,485	5,303		
- Arveja	322	289	240	240	190	260	253	268	271	84.2
- Haba	50	49	49	40	38	32	32	35	40	80.0
- Tomate	2,900	3,028	2,700	3,197	3,970	4,725	5,200	5,000	4,900	169.0
INDUSTRIALES	281,322	326,629	304,572	415,018	575,800	620,065	732,065	841,311	749,343	
- Algodón	16,523	26,000	11,400	18,050	24,000	49,825	52,000	50,000	31,4 2 7	
- Caña de Azúcar	67,458	63,880	65,503	63,916	70,300	72,520	75,120	71,861	69,736	
- Girasol	10,217	21,500	20,155	23,031	60,000	41,000	89,000	143,350	101,500	
- Maní	3,259	2,981	2,890	2,790	2,500	3,000	2,755	3,100	3,000	
- Soya	183,865	212,268	204,624	307,231	419,000	453,720	513,190	573,000	543,680	
TUBÉRCULOS	19,354	19,100	18,700	18,978	19,800	20,145	20,362	20,481	19,616	
- Papa	4,122	3,950	3,500	3,684	4,800	5,500	5,700	5,800	4,720	
- Yuca	15,232	15,150	15,200	15,294	15,000	14,645	14,662	14,681	14,896	
FORRAJES	86	89	89	84	82	100	100	110		
- Alfalfa	86	89	89	84	82	100	100	110	115	133.7

出典: Anuario Estadístico 1999, INE

サンタクルス県における農産物生産量の推移

unit:ton

											шилюн
CULT	TVOS	1990-1991	1991-1992	1992-1993	1993-1994	1994-1995	1995-1996	1996-1997	1997-1998	1998-1999	1999/1991(%)
CEREALES	Arroz en chala.	183,688	173,861	164,646	193,077	209,000	283,100	189,910	231,540	113,288	61.7
	Cebada en grano	63	66	52	68	80	245	268	255	276	438.1
	Maiz en grano	150,075	172,986	244,562	272,108	272,600	307,700	309,668	226,117	290,180	193.4
	Sorgo	79,000	78,000	104,500	49,951	84,000	116,000	131,250	97,000	148,296	187.7
	Trigo	57,469	52,294	96,860	33,567	76,069	40,644	104,050	122,628	86,850	151.1
ESTIMULANTES	Caté	255	300	200	192	333	316	351	340	348	136.5
FRUTALES	Banano	11,035	11,768	11,492	15,405	16,000	18,794	19,644	20,400	21,500	194.8
	Plátano	110,921	108,246	109,127	116,400	108,000	112,019	115,358	115,000	115,282	103.9
	Vid	617	372	366	410	575	784	784	850	928	150.4
HORTALIZAS	Arveja	950	846	752	779	623	750	807	750	768	80.8
	Haba	73	73	73	60	57	48	48	50	58	79.5
	Tomate	40,653	39,338	35,710	40,419	55,580	66,150	78,177	70,485	74,480	183.2
INDUSTRIALES	Algodón	8,512	6,147	7,693	9,299	13,799	27,846	22,316	20,180	14,142	166.1
	Caña de Azúcar	3,174,400	2,751,425	2,279,390	2,736,880	3,212,620	3,528,390	3,246,686	2,907,407	2,712,730	85.5
	Girasol	11,870	29,500	25,597	24,231	57,600	33,000	80,700	114,680	95,410	803.8
	Mani	3,486	2,963	2,910	2,789	2,250	3,192	3,281	3,199	3,300	94.7
	Soya	377,107	324,770	475,215	690,747	851,900	848,882	1,021,498	1,136,340	783,152	207.7
TUBÉRCULOS	Papa	40,682	36,115	33,810	36,472	50,779	57,800	66,000	58,545	56,640	139.2
	Yuca	196,353	160,287	155,180	158,460	165,000	163,925	168,569	169,195	176,667	90.0
FORRAJES	Alfalfa	567	580	579	598	600	735	735	721	780	137.6

出典: Anuario Estadístico 1999, INE

本県の農牧業の「ボ」国における重要性は非常に高いが、次ぎのような克服すべき問題点を内包している。

- ① 農業生産基盤(道路・灌漑・排水施設)の整備が著しく遅れている
- ② 生活や流通のための幹線道路・地方主要道路の整備も十分でない
- ③ 焼畑耕作等による森林の無秩序・無計画な開発が行われている
- ④ 農業生産技術のレベルが低く、農業・畜産ともに生産性が低い
- ⑤ 情報収集伝達、集出荷施設、農畜産物卸売り市場、輸送体制等、市場・流通機構 の整備が遅れている
- ⑥ 営農資金のための農業金融システムが不十分である
- (7) 自然災害(水害・洪水・旱魃)による農牧生産の被害の恒常化
- ⑧ コカ栽培農民に対する代替作物の提示が困難である

1.2 ヤパカニ川右岸地域農業復旧計画計画

(1)計画の背景

東部平原地帯にある本県は大豆、米、サトウキビ、牧畜等の一大生産地帯であり、「ボ」国農業部門の中心的位置を占めている。米作の最優良生産地帯となっているのが、ヤパカニ川右岸地域であり、特に日本人移住地となっているコローニア・サンファン及びボリヴィア国内の高原地帯からの入植地(国内移住地)であるコローニア・アントガファスタは稲作優良地帯で、稲作のみならず大豆、とうもろこし、鶏卵、肥育牛等多角的な農業経営を営んでいる。そのため、サンタクルス県もこの地域を稲作優良地帯として位置づけ、小規模農家を中心とした稲作改善プロジェクトを推進している。

しかし、地域内には適切な排水路がなく洪水時には冠水等の被害が顕著になってきている。また、従来より稲作栽培(殆どが陸稲)は天水に依存して行ってきているが、近年徐々に降雨量が減り、特に乾季(5月~10月)には灌漑用水が不足するため、生産性が低下してきている。このため、新しい農地を求めて入植地北部に隣接する自然保護森林地帯への乱開発が進んでおり、大きな社会問題となってきている。一方、アントファガスタ地区は、農協組織が確立されているサンファン地区と異なり、農産物の計画的・組織的な集出荷が行われていないため、不利な条件での農産物取引を余儀なくされている。

かかる状況下、サンタクルス県としては県の優良稲作モデル地域とも言えるこのヤパカ二川右岸地域の既耕地での生産性向上・農業経営安定のための基盤整備を実施することによって、北部に隣接する熱帯森林地帯の焼き畑農業等による乱開発を防止することを重要課題と捉えている。

(2)地区の概要

1) 位置及び地形状況

調査対象地区は、サンタクルス市から北西に約140kmに位置し、南側は国道7号線(グアビラ〜コチャバンバ街道)、西側はヤパカニ川、東側はサンカルロス〜アントファガスタ間道路に囲まれた約50,000ha の地域である。行政上はイチロー郡サンカルロス市(San Carlos, Provincia ICHILO)にある。域内には、サンファン移住地(27,000ha、人口3,000人)及びアントファガスタ入植地(19,700ha、人口3000人)があり、全体としては裨益人口約8,000人である。

地形は標高250m~300mでヤパカ二川に沿って南から北へ約1/800の緩勾配で傾斜している。部分的には緩く浅い谷や起伏が見られ、低地部は雨季の流水が溜まり沼沢地が形成されている。このような地形特性のため、土壌母材はヤパカ二川の氾濫で新旧の堆積による沖積土で形成されている。土質は砂質土から重植質土と幅広いが、耕地土壌は砂壌土から植壌土の複雑多義な分布を示す。

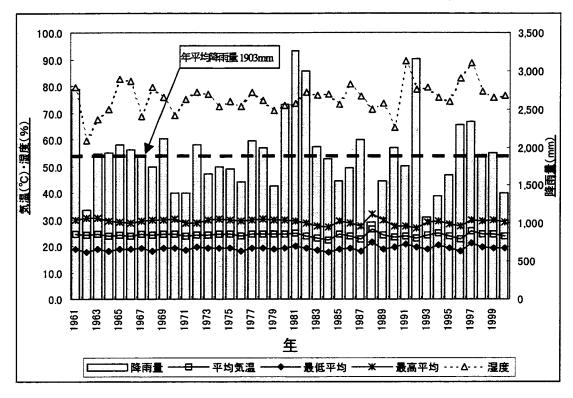
2) 気象状況

サンファン移住地周辺は、雨季と乾季の区分が比較的明瞭なサバンナ気候区である。 気温は年平均 24.1℃、最高気温の平均は 29.2℃、最低気温の年平均は 19.1℃である。また、絶対最高気温は 43.2℃、絶対最低気温は 1.0℃であるが、瞬間的には氷点下に下が り霜が降りることもある。

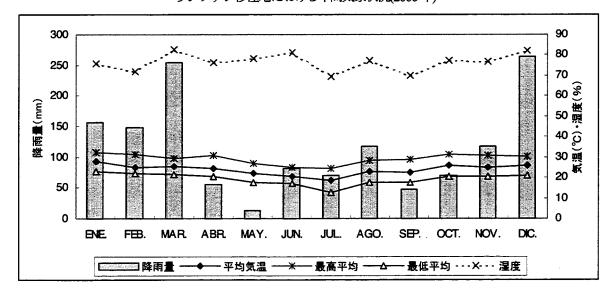
サンファン移住地内観測所における40年間の記録(1961~2000年)によれば、本地区の降雨特性は次ぎのようにまとめられる。

年間平均降水量	年間最高降水量	月間最高降水量	日最高降水量	年間最低降水量	月間最低降水量
1,903mm	3,264mm	602mm	275mm	1,016mm	0mm
1961~2000年間	1981年	1981年6月	1981年5月	1988年	1988年8月

サンファン移住地における気象条件の推移(1961~2000年)



サンファン移住地における年間気象状況(2000年)



3) 農業の状況

サンタクルス市北部地域は、大豆・米等の穀物供給基地として農業が盛んな地域である。特に、稲作はイチロ一郡を中心に全国の作付面積の67%、生産量の82%を占める主要産地となっている。熱帯農業研究センター(CIAT)によれば、サンタクルス県の稲作農家数は1995年では約34,000戸であり、うち8.2%が日系人等の外国人移住地を中心とした作付

面積 10ha 以上の中・大規模機械化農家であり、残り 91.8%が国内移住者を中心とした作付面積 10ha 未満の小規模農家である。

ヤパカニ右岸にあるサンファン移住地内には、「サンファン農牧総合協同組合 (CAISY)」があり、組合員数は 116 名(2000 年 3 月現在)であり、1戸当たりの農地面積は 150ha~200ha/戸である。なお、この組合員を含んだ移住地内に居住する日系人は 230 世帯、740 名である。サンファン移住地の環境は、移住地外の環境に比較して恵まれていること から、年々ボリヴィア人の移住地への住居者が増加しており、1997 年には 550 世帯、3350 名となっている。

一方、アントファガスタ入植地は、国内政策の一環として、アンデス高地に住むインディオ対策として開発された国内移住地であり、移住者は高地出身のボリヴィア人で構成されている。現在同入植地は 26 の集落から成っており、約 700 世帯、4,000 名が居住し、1 戸当たりの農地面積は 60~80ha である。

両移住地とも開拓地であり、サンファン地区は50ha/区画で分譲され、またアントファガスタ地区では20ha/区画で分譲された。特にサンファン地区の未開の低湿地帯は、移住者の想像を絶する努力の結果、現在では優良な穀倉地帯と生まれ変わり、「ボ」国の農業部門を支えるまでになっている。主な農産物は、米、大豆であるが、サンファン地区ではこれ以外に柑橘類、マカダミヤナッツも栽培されている。また、鶏卵、畜牛を含む複合経営を行っている農家もある。

(3)計画の内容

サンタクルス市北部一帯は同国の最優良農業地帯であり、この内、サンファン日系移住地及びボリヴィア人入植地アントファガスタを含むヤパカ二川右岸地域の約50,000haにおいて、農産物の生産性向上による農業経営の安定、及び農業協同組合を中心とした組織的な農業生産体制を確立するため、灌漑施設整備及び連絡農道整備、集出荷施設、維持管理用機材等の整備を実施する。

本計画の内容としては以下の項目が挙げられる。

1)灌漑システムの導入:取水工、水路、溜池等の灌漑施設の建設

2) 農地保全対策 : ヤパカニ川沿岸部の農地侵食区間の防御

3) 農道整備 : 移住地間の連携を図るための連絡農道の整備、改修

4)集出荷体制の確立 : アントファガスタ入植地の集出荷施設の建設

5)組合組織の強化 : 水利組合を主体とした経済組合の設立

6)施設維持管理 :維持管理用機材の調達

これらの事業を実施することにより、両入植地の農業生産性の増大、輸出作物の増産、農業経営の安定、協同組合による集出荷体制、施設維持管理体制の確立が期待できる。

(4)調査の概要

調査は大きく分けて下記の三段階で実施される。

- ・Phase I フィジビリティ(F/S)調査
- · Phase II 基本設計(B/D)調査
- ・Phase III 実施設計(D/D)調査及び事業の実施

1) Phase I: フィージビリティ調査の実施

以下の項目について既存の資料収集を行うとともに、必要な現地調査を実施する。

- a. 気象及び水文、灌漑排水調査
- b. 土地利用状況及び土地所有
- c. 農牧畜業の現況調査
- d. 道路網の状況
- e. 農産物の作付体系と生産量
- f. 農業経済及び社会経済調査
- g. 農民組織と維持管理体制
- h. 流通システムと市場調査
- i. 自然環境調査
- j. 当該地域の関連開発計画及び地方開発計画

これらの調査結果より、開発基本計画(無償資金計画案)を樹立する

2) Phase II: 基本設計(B/D)調査

上記の開発基本計画に基づいて、基本設計調査を実施する。

- a. 本計画の必要性、緊急性、妥当性の確認
- b. 各施設の基本設計調査
- c. 事業費の積算

3) Phase III: 実施設計調査及び事業の実施

両国間の交換公文(C/N)後、以下の順序で事業実施される。

- a. 実施設計調査
- b. 建設業者、調達業者の選定
- c. 事業の実施

(5)実施工程

本計画は初年度に開発調査、2年次に基本設計調査、3~4年次に実施設計調査及び事業実施が行われることとなる。

		工	呈 表	
作業項目	1 年次	2年次	3年次	4年次
1.開発調査 2.基本設計調査 3.実施設計調査 4.事業の実施				

(6)計画実施機関

本計画の調査及び事業の実施機関は、サンタクルス県(Prefectura del Departamento de Santa Cruz)である。その他、地元農業組合(Cooperativa Agropecuaria)及び農牧農村開発省 (MAGDR: Ministerio de Agricultura, Ganaderia y Desarrollo Rural)等、関連機関の協力の下に実施される。

(7)期待される効果

本プロジェクトが実施された場合には、以下のような効果が期待できる。

【直接効果】

- -地域内の稲作及び大豆の生産性が向上し、地域農民の農業経営の安定化を図ることが出来る。
- -溜池を建設することによって洪水の一時貯留が可能となり、乾期の補助水源として活用し、水稲栽培の振興が図れる。
- -移住地間の農道が整備され年中通行可能となり、農産物の輸送はもとより、両移 住地の時間距離が短縮さ、流通体系の改善が図れる。
- -アントファガスタ入植地域における集出荷場を活用した計画的な共同出荷体制が 創設される。

【間接効果】

- サンタクルス県において、米の灌漑農業モデルができる。
- 一既耕地の土地生産性を高めることによって、隣接する自然森林地帯の乱開発を抑制することができる。
- -プロ技「小規模農家向け優良稲種子普及システム」との連携を図ることによって、 より高い十地生産性の向上が見込める。
- ーサンファン移住地の栽培技術、農協組織体制等が周辺地域に拡大していく。

(8)総合所見

サンタクルス北部のヤパカ二川周辺は、土壌にも恵まれ米・大豆の大生産地帯となっており、特に米の生産は国全体の60%のシェアを占めている。サンタクルス県においても、本地域を食糧生産基地のモデル地区として位置付け、「ボ」国内の農業改善推進パイロットプロジェクトを展開しようとしている。

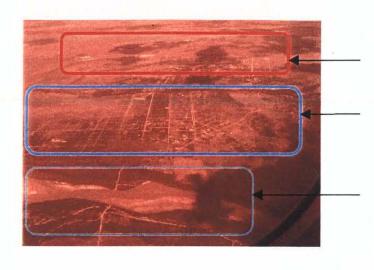
しかし、本地区のように集約型農業経営は天候に左右される部分が大きく、それに対する予防策も不十分であり、非常に脆弱な生産体系を克服できずにいる。特に、最近の異常気象による旱魃被害がここ2~3年続いており、農産物の生産性は低下している。また、小規模農家においては、旱魃による減収のため農業投資資金調達に困難を強いられている状況下にある。このため、北部未開地の森林保護地域への農地拡大、乱開発が進行しており大きな社会問題となっている。

本プロジェクトは、このような種々の課題を解決することによって、地区内の既農地を活用した安定的生産を確保するとともに、国土の保全と良好な自然環境の保護を実施しようとするものである。また、地区内には農協組織が確立しているサンファン日系人移住地があり、その運営ノウハウを隣接するアントファガスタ国内入植地へ技術移転することにより、より安定した農業経営を推進することが可能である。一方、サンタクルス県としても優先度が高いプロジェクトであると位置付けており、早期に本プロジェクトの実現を期待しており、我が国の技術及び資金援助を実施するに適した案件であると思料される。

添付資料

- 1.現地写真
- 2.面会者リスト
- 3.収集資料
- 4.要請書(案)

1. 現地写真



アンゴスツーラ国内移住地 サンファン日系移住地

ヤパカニ川

サンタクルス県熱帯農業研究所(CIAT)





サンファン・ヤパカニ農業共同組合 (CAISY)

サンタクルスーコチャバンバ街道とサンファン移住地を結ぶ幹線道路の整備工事が開始され、2002年には全面舗装が完了する。





降雨期の雨水を活用して水田に転換された 湿地帯。

現在さんファン移住地では陸稲から水稲栽 培へと転換が図られている。

雨期の雨水を貯水するためのため池 各農家ごとに自力で整備している。





水田整備のために設置された排水路

アントファガスタ地区の焼き畑



アントファガスタ地区の幹線道路

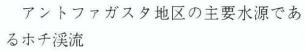


アントファガスタ地区の小麦栽培地





アントファガスタ地区とサンファン地区を 結ぶ連絡道路



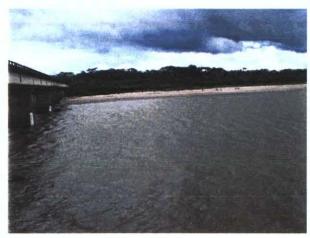




ホチ渓流の下流部 乾季にはほとんど水がなくなる「。

アントファガスタ地区へ内国移住のために入植したインディオ農家。





ヤパカ二川とスルツ川合流後の流況

ヤパカ二川中流部の流況



2. 面会者リスト

在ボリヴィア日本国大使館: 山本 哲史(参事官)

下川 富夫 (一等書記官)

水口 尚恵 (二等書記官)

JICA ラパス事務所:

永井 和夫 (所長)

伊藤 圭介(農業開発担当)

Ministerio de Agricultura, Ganaderia y Desarrollo Rural:

Miguel Sauma Razuk (Director General)

Prefectura del Departamento Santa Cruz:

Humberto Nazra Carrasco (Director)

本家 正彦 (JICA 地域計画専門家)

Proyecto de Difusión de Semilla de Arroz de Alta Calidad para Pequeños Agricultores:

関口 伸治 (JICA 専門家)

サン・ファン農牧総合協同組合(CAISY):

加藤 重則(組合長)

日比野 正靭 (総支配人)

サン・ファン日本ボリヴィア協会:

池田 篤雄(会長)

3. 収集資料

Anuario Estadístico 1999: INE - Bolivia

Plan Estratégico de Desarrollo – Municipio Ypacani: Centro de Tecnología Intermedia (CEDETI)

Difusion de Semilla de Arroz de Alta Calidad para Pequeños Agricultores de Bolivia:

CIAT

Estrategias Campesinas de Gestion Ambiental – Yo Soy Don Anastacio Aavarro:

Municipio Yapacani

Estrategias Campesinas de Gestion Ambiental - Apuntes Sobre la Historia de Yapacani:

Municipio Yapacani

Boletin CAISY - Actualidad de la Cooperativa: CAISY Ltda.

4. 要請書(案)

本要請書は調査団とサンタクルス県との協議により作成されたものである。

また、別添の書類は、以前に MAGRD-JICA において実施された「Mejoramiento del Sistema de Mercado Agricola en Santa Cruz」及び「Control de las Inundaciones: Drenaje Norte」と本プロジェクトは密接な関連性を有し、本プロジェクトの実施は前記調査結果を具現するものであり、本計画の早期実現を対外経済省(VIPFE)に対してサンタクルス県知事が要望したものである。



Santa Cruz, Enero 22 del año 2001 CITE Of. S.P. Nº 029/01

Señor

Lic. Bernardo Requena B.
VICE MINISTRO DE INVERSIÓN PÚBLICA Y
FINANCIAMIENTO EXTERNO
MINISTERIO DE HACIENDA
La Paz.-

Ref. Solicitud de Donación de Estudio de Desarrollo: Rehabilitación Agrícola de la Ribera Derecha del Río Yapacaní CITE OF. DDDP No. 061/2000 del 01/Agosto/2000.

De mi consideración:

Por el presente agradecemos la respuesta a nuestra solicitud mediante Carta VIPFE/DGIP/TER-02459/200 del 6 de Septiembre del presente, en la cual se nos solicita información complementaria con la finalidad de proceder con las gestiones oficiales de financiamiento para el estudio de nuestra referencia ante el Gobierno del Japón.

En tal sentido, hacemos de su conocimiento nuestra respuesta como sigue:

A. Relación entre el Estudio Solicitado con Estudios realizados anteriormente:

1. El Plan de Comercialización Fruti hortícola

Este Estudio llamado oficialmente Estudio de Factibilidad para el Mejoramiento del Sistema de Mercadeo Agrícola en Santa Cruz, Este Estudio llamado oficialmente Estudio de Factibilidad para el Mejoramiento del Sistema de Mercadeo Agrícola en Santa Cruz, tiene como objeto de estudio las condiciones de mercadeo de los productos agrícolas de la región así como de los productos importados. Las zonas de producción de frutas y verduras entre otros productos importantes del Departamento de Santa Cruz, se dividen en el Area de los Valles y Tierras Bajas. El Area de las Tierras Bajas abarca la zona de San Juan de Yapancani, y la zona ahora de Antofagasta, objeto de estudio de nuestra solicitud actual.

La Zona de San Juan de Yapacaní y Antofagasta son áreas, cuyo volumen de producción alcanza las 362 mil toneladas anuales de frutas y verduras, las cuales no solamente cubren la demanda de Santa Cruz, sino de otras zonas del país como Cochabamba y algunos mercados externos. Esta área es considerada la Producción de las Tierras Bajas de Agricultores en Gran Escala.

Por lo tanto, nuestra presente solicitud de Estudio para aprovechar las épocas de lluvia y utilizar este recurso hídrico en épocas de estiaje, incorpora un componente de previsión así como de permitir el mantenimiento e incremento de la productividad agrícola en la zona de las Tierras Bajas, con la finalidad de darle continuidad y permanencia a la oferta de esta zona productora.

2. Estudio Sobre el Control de las Inundaciones: Drenaje Norte

Este estudio contempla eliminar el excedente de acuífero en épocas de lluvias con la finalidad de evitar la inundación de las zonas de producción agrícola, las cuales se ven seriamente afectadas especialmente en estas épocas de avenidas.

Este Estudio del Drenaje Norte contempla el área de las cuencas del Río Grande y las Subcuencas de Yapacani y Pirai, lo cual abarca 8,237 km² en el sector de la Cordillera y 38,423 km² en el sector de la llanura.

He aquí el nexo existente entre este Estudio y nuestra actual solicitud de Estudio en la Margen Derecha del Río Yapacaní, donde se ubican las áreas de las comunidades de Antofagasta y San Juan de Yapacaní, debido a que se plantea la necesidad de que en épocas de lluvias permanentes se pueda aprovechar este exceso de acuífero con la posibilidad de almacenarlo en áreas estratégicas con la finalidad de ser utilizados en épocas de estiaje en el riego de los cultivos predominantes en esta área.

B. En el punto 4-2, Fase 1 de nuestra solicitud original, añadimos lo siguiente:

- Estudio de Patologías de suelo y cultivos
- Validación de tecnología existente y por aplicarse
- Evaluación Socio Económica
- Sostenibilidad de la ejecución de posibles proyectos generados

C. Costo del Estudio

Nuestra solicitud contempla la posibilidad de recibir Donación de Estudios. Lo cual implica la elaboración del estudio de factibilidad por empresas japonesas especializadas en el área, luego de la designación oficial que la Agencia de Cooperación

Internacional del Japón (JICA) de acuerdo a los procedimientos realizados en el Japón.

En este sentido, los costos en que dicho estudio pueda incurrir son integramente cubiertos por el Gobierno Japonés, sin embargo, como contrapartida local de la Prefectura de Santa Cruz, tendremos que aportar horas-hombre del personal técnico de las diversas instancias que la Dirección General de Coordinación designe en su oportunidad, en la eventualidad de la aprobación oficial de nuestra solicitud.

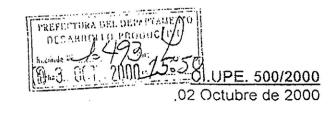
Por este motivo, agradezco la cooperación que su Despacho tenga a bien otorgar al impulso de esta nuestra solicitud de Estudio ante las instancias de la Cooperación Técnica Japonesa en la Paz.

Muy Atentamente,

amon Prada Vaca Diez

EFECTO DEL DEPARTAMENTO





COMUNICACION INTERNA

A

Ing. Humberto Nazra

DIRECTOR DPTAL. DESARROLLO PRODUCTIVO

DE

Lic. Tito Guido Rojas Mendoza

JEFE UNIDAD DE PLANIFICACION ESTRATEGICA

REF

CORRECCION DEL PROYECTO REHABILITACIÓN AGRICOLA

DE LA RIBERA DERECHA RIO YAPACANY

Señor Director:

Mediante la presente, hago llegar a usted el oficio VIPFE 02459/00 donde se solicita complementar información al Proyecto de referencia.

Sin otro particular motivo, saludo a usted muy atentamente.

JEFE IN DAD DE OT ABOUT AS . A PREZECTURA OCL DEPARTAMENTO

Me " m

Copia Archivo TGRM/Fabiala



La Paz, 0 6 SET. 2000 VIPFE/DGIP/TER-02459/2000

Señor Ing. Ramon Prada PREFECTO DEL DEPARTAMENTO DE SANTA CRUZ Santa Cruz.-

REF.: PROMECTO DE DEUT D'ILITACIO I ACRICOLA DE LA RIBERA DELLOJA RIO JARAGANI

Señor Prefecto:

Por medio de la presente, tengo a bien dar respuesta a su nota OF.DDDPNo.061/200, mediante la cual solicita gestión de financiamiento para el estudio del proyecto de referencia ante la Cooperación del Gobierno del Japón.

Al respecto, el Ministerio de Agricultura, Ganadería y Desarrollo Rural, ha hecho conocer a este Viceministerio la prioridad del proyecto, mediante nota MAGDR/UPC/No.292/2000. Sin embargo, es necesario que su solicitud pueda ser complementada con la siguiente información:

- Incluir en el documento la justificación del proyecto, a partir del Plan de Comercialización Frutihorticola y Drenaje Norte, que actualmente se encuentra en gestión de financiamiento con el Gobierno del Japón, en este marco establecer el rol del proyecto, su participación y relacionamiento con los proyectos indicados.
- Es necesario, que en el punto 4-2, fase 1 del documento, se incluya el estudio de patologías de suelo y cultivo, de validación de tecnología existente y aplicada, evaluación socioeconómica y de sostenibilidad del proyecto.



Incluir el costo del estudio y detalle de presupuesto por tuente de financiamiento.

En este sentido, agradeceré remitirnos dicha información para iniciar con las gestiones pertinentes.

Con este motivo, saludo a usted muy atentamente.

00000/2000 RTG|srb.

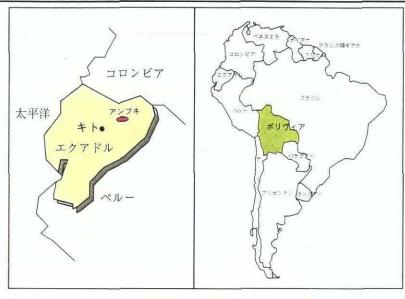
VoBo JCT OS/0

VoBo RCO Fecha V S (U S)
Fecha de elaboración: 5/09/00 10:09:06

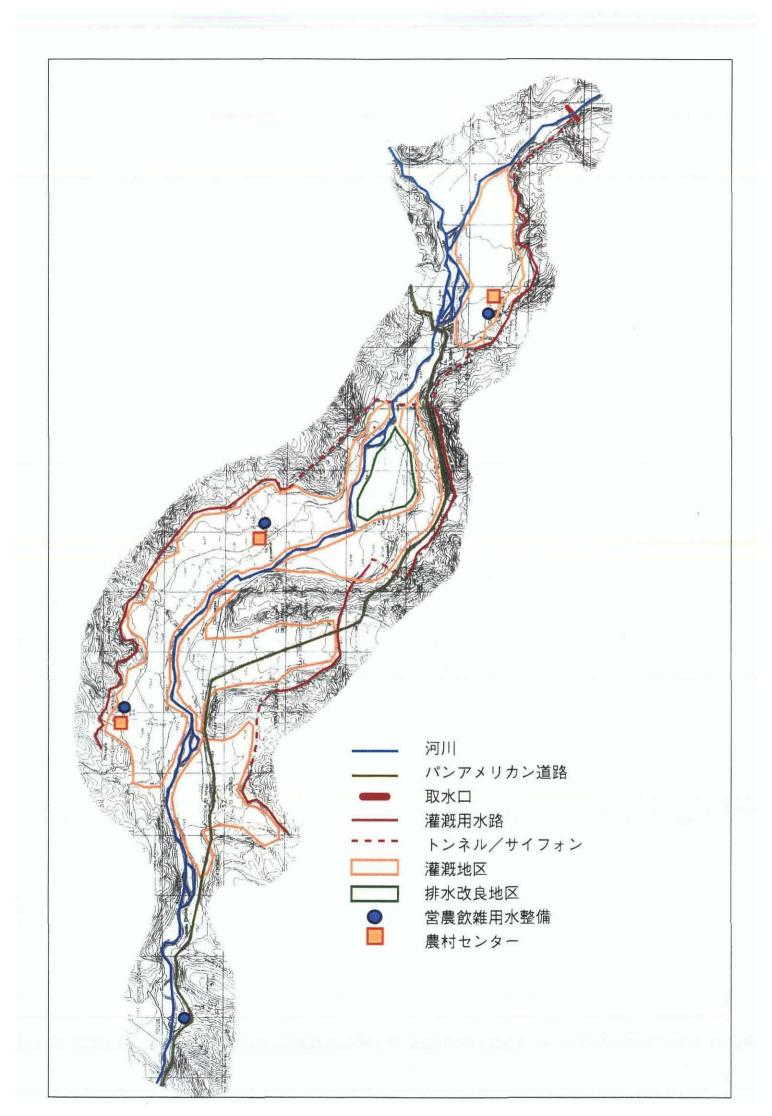
エクアドル国

アンブキ地区農村復旧計画

調查位置図







2. エクアドル国アンブキ地区農村復旧計画

2.1 エクアドル国の概要

(1) 自然概況

エクアドル国は南米大陸の北西部北緯1°30′~南緯4°30′、西経75°~81°に位置し、ほぼ中央部を赤道が通っている。南と東をペルーと、北をコロンビアと接し、西は太平洋に面している。国土面積は270 千 km²で、国土は自然条件よりコスタ(太平洋沿岸地域)、シエラ(アンデス高原地域)、オリエンテ(アマゾン東部地域)及びガラパゴス諸島域の4地帯に区分される。

気象特性としては、北上するフンポルト海流(寒流)と、南下する赤道暖流(エル・ニーニョ)が当国沖合いで会し、気候上の重要因子を形成している。これにより南部はペルー沿岸砂漠限界に続く半砂漠地帯、北部コロンビア寄りは熱帯湿潤地帯を形成しているが、赤道暖流の勢力の消長がこの地域の洪水、旱魃に大きく影響している。降水量は南部ペルー寄りでは80mm、北部コロンビア寄り4,000mmと地域差が大きい。

内陸部の地帯の特徴は次ぎのようにまとめられる。

地帯区分	面積(構成比%)	自然条件の特色
コスタ	69,370km2 (26.4%)	太平洋沿岸平坦地と、これに続くアンデス山系西部の 傾斜地で形成される地域で永年の洪水堆積による肥沃 な土壌をもつ。平均気温は 24℃、12 月から 5 月が雨 期となる。
シエラ	72,920km2 (27.8%)	2 つに分岐したアンデス山系によって形成される高原地帯である。北部、中部の土壌は概して火山性であり、南部では流出堆積によって形成されたものもある。洪水問題は少ないが、傾斜地のエロージョンが深刻な問題となっている。東側アンデス山脈によって多様な気候条件を有する。平均気温は10~18℃である。雨期は10月から5月、年間降水量は300mm-3,000mmと局所変化が激しい。気象上の顕著な多様性と、土壌、水の制限要素があるが、殆どの土地が農業牧畜に利用されている。
オリエンテ	120;370km2 (45.8%)	赤道地帯降雨パターンとして 3,000-6,000mm と多量の降水量をもち、平均気温は 23~26℃である。アンデス山脈の東方山裾およびアマゾン川上流の段丘では部分的な氾濫原、堆積によるテラス部を除いて生産性の低い粘土地帯である。一般に環境的に脆弱であり、低部地域の常習的浸水という問題を抱えている。

エクアドル共和国の概要は次ぎのようにまとめられる。

エクアドル共和国の概要(1/2)

	エクノトル共和国の成女(1/2)
国 名	Republica del Ecuador (Republic of Ecuador)
面積	28万 3561 平方キロ
概観	赤道下にあり、中央をアンデス山脈が縦断、海岸低地は亜熱帯、東のアマ ゾン上流域は熱帯雨林、ガラパゴス諸島も領有。
次 海	
資 源	石油、金、銀、銅、天然ガス
人口	1256 万人 (99 年推定)
首 都	キト (Quito)、人口 157 万人 (2000 年)
主要都市	グアヤキル (207 万人)、クエンカ (27 万人)、マチャラ (21 万人)
住民	先住民と白人の混血 55%、先住民 25%、白人 10%、黒人 10%
言 語	公用語はスペイン語。他にケチュア語など
宗 教	カトリックが 80%。他にプロテスタント、ユダヤ教
政治体制	共和制。大統領が最高権力者
憲法	1979年8月10日施行
元 首	大統領。グスタボ・ノボア (Gustavo NOBOA)。直接選挙制。任期4年。連続再選禁止。2000年1月22日就任。任期は2003年1月15日まで
議会	1 院制。全国区 20、地方区 101 の計 121 議席。任期 4 年
内 閣	大統領が任免。首相なし
主要政党	人民民主党、キリスト教社会党、ロルドス党など
国内総生産	197 億 6600 万ドル (98 年) 1 人当たり国民総生産: 1530 ドル (同)
	スクレ (Sucre)。1ドル=2万 5000 スクレ (1999 年 12月)
通貨	2000年1月9日に自国通貨を米ドル紙幣に置き換えるドル化政策実施
	スクレ廃止(米ドルを自国通貨とする)
略史	15世紀 ・インカ帝国が征服。
議会	98年5月に総選挙。党派別議席数は、人民民主党 (DP、中道左派) 32、キリスト教社会党 (PSC、右派) 27、ロルドス党 (PRE、中道左派) 24、民主左翼 (ID、同) 18、パチャクティク (PNP、先住民) 9など。
司法	最高裁、高裁、地裁の3審制。死刑なし。
地方行政	取局級、周級、地級の3番間。元門なり。 22 州(Provincia)。知事は公選。
地刀门以	プラジルのレアル切り下げの影響で通貨スクレが暴落、インフレが再燃し、
政治	99年3月には新自由主義経済政策の修正を求めるゼネストに発展。 マワ政権は非常事態を宣言し同18日にアラルコン前大統領を汚職で逮捕。 7月にはマワ退陣要求デモで再び非常事態を宣言。

エクアドル共和国の概要(2/2)

	エクメトル共和国の概要 (2/2)
	▼大統領失脚:通貨が99年初めの1ドル=7000スクレから2万スクレ台
	まで下落、マワ大統領は2000年1月5日に非常事態を宣言し、9日に自国
	通貨を米ドル紙幣に置き換えるドル化政策を発表、事態の打開を図ったが、
	先住民らの抗議デモは激化。21日には国会などを占拠し、軍部も加担して
	事実上のクーデターに。メンドーサ統合参謀本部議長(国防相代行)、バル
	ガス先住民連盟代表、ソロルサノ元最高裁長官の3人が救国評議会を樹立
	した。しかし軍の支持を得られず、米国政府の反発もあり、同議長は3時
	間足らずで退き、22日朝、ノボア副大統領を新大統領に就任させた。マワ
	大統領は辞任を拒んだが失脚。バルガス代表は先住民を撤収させた。臨時
	議会は同日、副大統領の昇格を追認、新大統領はドル化政策などの踏襲を
	表明した。
外交	米国、中南米諸国との協調が基本。ペルーとのアマゾン地域の国境紛争は、
// ~	99 年 5 月 13 日国境線を最終画定。
対日関係	1918年8月26日、国交樹立。戦時断交を経て54年9月30日復交。98年
MINIM	の対日輸出 2 億ドル、輸入 4 億 5000 万ドル。在留邦人 410 人 (98 年)。
軍事	選抜徵兵制。兵役1年。総兵力5万7100人。陸軍5万人、海軍(海兵隊含
+ +	む) 4100人、空軍 3000人。99年国防予算 4億 700 万ドル。
	99年の国内総生産 (GDP) 成長率はマイナス 7% (98年プラス 0.4%)。イ
	ンフレ率 60% (同 45%)。失業率 17%。国民の 6 割強が貧困層。
	外貨準備は13億ドル。対外累積債務130億ドル。1月に金融取引税(すべ)
	ての商取引に1%課税)を導入、預金保護庁を創設。
	2月12日対ドル為替バンド制から変動相場制に移行。3月8日定期預金な
	どを凍結。銀行の破たん処理で国民に根強い不信。2000年度予算は、歳入
財政・経済	29 億 7000 万ドル、歳出 32 億 9000 万ドル (うち 54%は債務償還)、付加価
	値税は10%から12%に。
	▼債務不履行:米財務当局が救済を見送り、9月末にブレイディ債の利払
	い 4450 万ドルの債務支払い停止に追い込まれた。同債券の債務不履行は初
	めて。農業 (バナナ、カカオ、コーヒー)、石油 (日量約38万バレル)、漁
	業が主産業。貿易国は米国、コロンビアなど。
	98年の輸出は 41 億ドル、輸入は 51 億ドルで、赤字に転落。
l	キト郊外のグアグア・ピチンチャ火山やキト州のトゥングラワ火山の噴火
社会・文化	で被害が続く。義務教育は9年間。識字率90% (95年)。
	主要紙はエルコメルシオ、オイ。エクアドル・テレビなど。

出典:時事通信社

(2) 社会・経済状況

「工」国はボリヴィア、コロンビア、ペルー及びベネゼーラの各国とアンデス 共同体(Andean Community)を形成し、地域経済・文化の発展のために連携を深め ている。

「工」国の人口は 1990 年代から平均 2%の増加率で推移しており、2000 年においては 12.6 百万人となっている。主要都市の人口は、ガヤキルが最も多く 207万人、キト 157万人、クエンカ 27万人、マチャラ 21万人である。

人口の推移

単位:千人

	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000
Andean Community	92,878	94,833	96,798	98,775	100,772	102,792	104,835	106,898	108,974	111,053	
Ecuador	10,264	10,502	10,741	10,980	11,220	11,460	11,699	11,937	12,175	12,411	12,646

出典:IDB

都市部と農村部の人口比率では、1980年代においては農村部人口が過半数を占めていたが、90年代以降は都市部に人口の集中が見られ、2000年においては63%の人口が都市部に集中する結果となっている。

人口の推移

単位:千人

	1980			1990			2000		
	Urban	Rural	%Urban	Urban	Rural	%Urban	Urban	Rural	%Urban
Andean Community	46,967	27,211	63.3	65,280	27,598	70.3	82,733	28,320	74.5
Ecuador	3,739	4,223	47.0	5,775	4,490	56.3	7,930	4,716	62.7

出典:IDB

2000年の調査結果による労働力人口は約500万人である。その内、農林水産業に従事する人口は32%の159万人となっており、1990年以降急激な減少傾向を示している。

国民総生産額(GDP) は 1999 年において 153 億 US\$となっており、1990 年以降順調に経済成長を続けてきたものの、1998 年から経済の鈍化傾向が顕著となり、マイナス成長を記録することとなった。そのため一人当たり GDP においても 2000 年には 1,233US\$と 80 年代後半の値に低下する結果となっている。その要因としては、政情の不安定に起因するインフレの蔓延と農産物価格の下落による経済活動の停滞にあると分析されている。

部門別 GDP 構成を見ると、農林水産業は1980年以降において構成率を年々低下させているが、近年やや持ち直し、12%程度を維持している。全体的に見て、各部門とも大きく構成比率を変化させたところは無く、凡そ平行移動で推移しているといえる。

GDP の推移

区	分	単位	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999
	GDP	百万US\$	12,974.80	13,693.70	14,227.60	14,612.80	15,322.60	15,713.90	16,031.50	16,612.00	16,662.80	15,307.30
一人	\当GDP	US\$	1,264.10	1,304.00	1,324.60	1,330.80	1,365.60	1,371.20	1,370.30	1,391.60	1,368.70	1,233.40

出典:IDB

部門別 GDP 構成の推移

単位:%

区分	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999
農林水産	13.4	14.3	12.7	12.1	11.9	11.9	11.9	12.1	12.0	12.2
鉱工業	14.8	11.1	12.6	10.7	10.5	10.5	10.6	8.8	5.6	11.4
製造	19.4	20.8	22.0	21.7	21.7	21.1	21.7	21.4	21.9	21.3
エネルギー	-0.2	-0.1	0.1	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
建設	4.0	4.5	4.5	4.9	4.7	4.6	4.6	4.6	4.9	4.5
貿易	21.2	22.1	21.5	20.2	20.4	20.0	19.4	19.8	20.2	18.4
流通・通信	8.6	8.7	7.8	8.9	9.3	9.2	9.1	9.3	9.6	9.4
金融	9.8	9.9	9.5	10.4	10.2	10.6	10.2	11.2	12.8	11.9
政府	4.7	4.1	4.2	4.8	5.2	6.2	6.8	7.0	7.1	5.8
その他	4.3	4.6	5.1	5.9	5.8	5.7	5.4	5.5	5.6	5.0

人種構成はスペイン系を中心とするラテン人と先住民インディオとの泥血が 55%、先住民が 25%、白人系が 10%、黒人 10%となっている。先住民であるインディオ系種族は 10 種族に及び、コスタ地域にはアワ族・チャチ族等 10 種族が、オリエンテ地域にはシュアル族・シノア族・ケチュア族等 5 種族が、シエラ地域にはケチュア族・アワ族が居住しており、おおむね地域毎に定住化を図っている。使用言語も種族毎に異なっているが、ケチュア語に近い言語体系となっている。インディオの構成比率の高い地域はオリエンテ地域で 63%を占めているが、他の地域は 20%前後となっている。各地域とも農村部に多く分布し、都市部では 10%以下である。

「エ」国の貧困状況は、貧困地図(LA GEOGRAFIA DE LA POBREZA – Secretaría Técnica del Frente Social, 1996)によれば、インディオの多く居住するオリエンテ地域の農村部において 87%に達しており、その他の地域の農村部も70%以上の貧困率を示し、農村部における貧困撲滅が大きな社会問題となっており、政府の重点施策として掲げられてる。

先住民分布と貧困状況

Lih tek	インディオ	構成率(%)	貧困層棒	成率(%)
地域	都市部	農村部	都市部	農村部
コスタ	8.6	22.4	44.2	72.7
シエラ	9.5	19.7	35.1	74.5
オリエンテ	6.7	62.6	35.8	87.1
ガラパゴス	-	12.1	-	39.6

出典: Ecuador su realidad, 2000-2001

(3) 農業状況と農業政策

「エ」国の農業生産は主としてコスタ、シエラの両地域で行われているが、 栽培作物や生産方式等にそれぞれの立地条件を生かした農業生産を実施してい る。その特色の概要は次ぎのようまとめられる。

地域区分	農業生産特性
コスタ	平坦な地形と肥沃な土壌に恵まれ、プランテーション型の大規模経営が多く、伝統的輸出農産物とされるバナナ、カカオ、コーヒーの他、米が生産されている。その他として乳牛、肉牛飼育、牧草栽培も盛ん。
シエラ	国内自給用農産物として麦類、トウモロコシ、馬鈴薯、豆類、野菜、果実等が生産される。その他に乳牛、肉牛飼育、牧草栽培。 地形的制約のため戸当たり耕作面積は小さく零細型営農が多くなっている。

土地利用では、わずかに 23%が農業的に利用されているにすぎず、残部は 樹林地及び熱帯森林並びに高山地帯の草生を形成する高原や草地である。 農業

的土地利用は次ぎのようになっている。

農業的土地利用構成

土地利用区分	面積(1,000ha)	構成比(%)
恒久的耕地	1,402.0	17.5
休耕地(ローテーション)	865.7	10.8
一時作付け地	491.0	6.1
不作付け地	245.3	3.1
草地	5,022.9	62.5
合計	8,026.9	100.0

「工」国は降雨量の絶対的不足、若しくは降雨期の偏りから当国農業では旧くから灌漑が行われており、1460年から1534年にかけてアンデス地帯を支配していたインカ民族は評価すべき灌漑組織を確立していたといわれる。近代に至り、国は1936年に最初の水法を制定し、1944年には灌漑事業団を発足させ国営事業の実施に当たらせた。1966年にエクアドル水資源庁を創設し、技術的、法律的に亘る水資源管理機能、水資源政策策定機能を付与し、又、国家灌漑計画策定を義務付けた。

灌漑開発事業に関しては、主管官庁である農牧省がコントロールせず、水資源庁の他コスタのグアヤス州、マナビ州を始めとする各地城に別に設立された地域機関が、国家開発審議会との直接協議を行って実施していた。この体制は 1994 年から実施された政府機関機構改革によって、国家水資源審議会(CNRH)に再編された。そして以下の地域組織が整備された。

水資源管理地域機関	管掌範囲
1. グアヤス川流域開発調査委員会(CEDEGE)	グアヤス川流域開発
2. マナビ再開発センター(CRM)	マナビ州開発
3. リアスアイ、カニャール、モローナーサ	アスアイ、カニャールモローナーサンティアゴ
ンティアゴ州経済復興センター"(CREA)	各州
4. エクアドル南部地域開発計画 (PREDESUR)	
5. シエラ中部地方事務所 (CORSICEN)	チムボラソ、トゥングラワ、コトパクシ、パス
	ターサ各州
6. シエラ北部地方事務所 (CORSINOR)	ピチンチャ、インバブーラ、カルチ、エスメラ
	ルダス、ナポ、スクンピオス各州
7. エル・オーロ地域開発事務所	エル・オーロ州

(4) 農業の現状と問題点

「工」国政府は今までの石油に過度に依存してきた産業経済構造を是正し、 農業部門振興へ大きく再転換を迫られることとなり、過度の石油依存から脱却 し、輸出産品の多様化、生産の増大を図ることを主眼とする経済構造調整を推 進してきた。国家開発計画(アジェンダ)では、農牧部門の低生産性を分析、問題 点を次の10項目に整理している。

- a. 農牧分野の不適切な方地理、規制の改善
- b. 機関内、機関間の協調不足
- c. 生産振興のための総合的プロジェクトの不足
- d. 基本資機材の国内生産及び品質管理の不足
- e. 農業分野の調査、技術移転の不足
- f. 研究機関と技術機関及び生産者間の連携不足
- g. 農業融資の不足
- h. 灌漑施設の不足
- i. 流通施設の不足・不備
- j. 農業を支援する投資や施設維持管理の不足

2.2 アンブキ地区農村復旧計画

(1) 計画の背景

アンブキ地方は「工」国のシエラ地域北部に位置し、イエズス会による黒人を中心とした開拓地(1870-1907年)で、村落共同体を形成していた。1964年の農地改革法によって土地の所有が認められ、水利組合を基幹とする生産組合を組織化した。基幹的な潅漑施設は1960年代にほぼ整備を終えているが、当時より現在まで数十年経過しているため施設の老朽化が激しく、伝統的農法に依存する部分が多く、農業経営の近代化に大きく立ち後れ、また生活環境基盤も初期の状態のまま充分に整備されていない状況にある。

このような状況に対処するため、本地域の灌漑施設全体の再整備を図り、 市場やコミュニブィー・センターの建設、農村簡易水道、維持管理機械の整備、 技術指導、環境保全管理等総合的に集落整備を推進することにより、当国の農 村整備の近代化モデル地区とするものである。

「工」国において、この種の総合プロジェクトの実施は政府の地方農村の 振興を図る基本政策であり、最優先度を与えられている。しかし、そのための 投資は大きいものであり、国家は現在公共支出を緊縮する状態にあり、その投 資額を準備できない状況にある。

従って、「工」国では、農村地域の再活性化を推進するためのパイロット的

な基礎部分の技術的及び資金的な支援を日本に対して要請することとし、アンブキ地区の計画の推進を強く要望している。

(2) 地区の概要

1) 位置及び気候

アンブキ地区は、首都キトーより北方約 135Km に位置し、インバブラ州北東部、チョタ川の両岸地域で、ボリバール、ピマンピロ及びイバラの各県に跨っている。地理的には、北緯 00°26′-00°29′、東経 77°46′-77°57′に位置し、地区内はチャルグアヤク、エル・フンカル、カルクエラ、アンブキ、サン・サルフォンソ、ツンバツ、プシル・チコ及びプシル・グランデの各市町村からなり、現在約 1,100ha が灌漑されている。標高は南部上流城は 1,700m、北部下流城は 1,675m で、東部にフンカル及びビキウチョ各町、西部はアンブキ及びサン・アルホンソの直線が境界線となっている。

年平均気温は 19℃、年降水量 450mm で、乾燥熱帯気候あるいは半乾燥気候 である。地区内の植生は、アカシア樹、豆科樹、サボテン等の樫木系耐乾性種が多い。

2) 水及び土地利用状況

アンブキ灌漑システムの水は95%が灌漑目的として使用されており、残り5%が産業および家庭用生活水として利用されている。特にエル・フンカル、チャルグアヤク、チャルブエラ及びベルメハルの各集落では上水道がないため、飲料水としても利用されている。

農業的土地利用は畑地として活用され、灌漑面積の約 92%が短期栽培作物 (豆類、野菜等)で、残り 8%が永年作物(サトウキビ、果樹等)が栽培されている。

	作物名	栽培両積(ha)	割合(%)
・短期作	インゲン豆	832	74. 5
	トマト	162	14. 5
	鞘インゲン	12	1. 0
	野菜類	10	0. 9
	その他	10	0. 9
・永年策	サトウキビ	23	2. 1
	果実類	46	4. [
	その他	22	2. 0
	計	1, 117	100. 0

(3) 計画の内容

本計画は、権欄システムの全面的な復旧を実施するとともに、市場及び地域社会センターの建設、農村簡易水道の整備、維持管理機械の整備、施設の維持管理、環境の保全管理等を実施することによって、地区全体 1,2000a の総合開発を図るものである。これによって直接利益を受ける人口は約 4,200 人(600 世帯)であるり、事業内容は以下の通りである。

- 1)農業インフラ整備:権慨水路、井戸、ため池等の復旧
- 2)農村インフラ整備:簡易水道の整備地区内農道の整備、コミュニティセンターの建設
- 3)農地保全整備:排水路改善による農地保全
- 4)市場・流通整備:農産物集出荷場の建設
- 5)環境管理·保全:水質管理計画樹立

(4) 実施工程

本プロジェクトは緊急性が高いため、日本の無償資金協力を前提に、フェーズ I は開発調査 (F/S) を実施し、フェーズ II においては基本設計調査(B/D)及び実施設計調査(D/D)、フェーズ III において建設工事実施を計画している。

(5) 計画実施機関

事業責任機関は、国家水資源審議会(CNRH)であり、また事業実施機関は農牧省北部高地事務所(CORSINOR)である。

(6) 総合所見

「工」国政府は貧困撲滅を主要な政策としている。特に、貧困層の主要な構成要員であるインディオ等の先住民族に対する生活環境及び生産環境の改善を最優先課題とし、農畜産部門の生産及び生産性の向上を中心とした総合開発プロジェクトを推進することにより、先住民族の地域定住化と生活の安定化を目指している。

先住民および貧困地域対策として国家開発計画に位置付けられている本プロジェクトは、地区の黒人住民の生活水準をレベルアップすることにより地域

定住化を促進しようとするものであり、国家施策の推進を図るプロジェクトである。

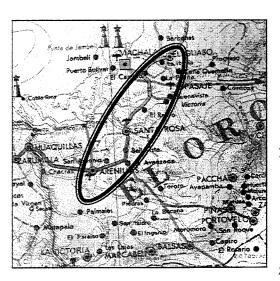
このプロジェクトの実施により、アンブキ地域住民 4,200 人、約 600 世帯が直接裨益を受けることになり、間接的には商業、建設業、製造業、職人及び一般共同体である教区の約 150,000 人が利益を受けるものである。

このように本プロジェクトは国政である先住民・貧困対策に協力できる計画であり、「工」国の本計画に対する優先度も非常に高く、第三国の援助がない状況下では、我が国が協力するに十分な効果が有ると思慮するものである。

2.3 その他の情報

「オロ州サンタロサ地区小規模灌漑改善計画」

オロ州はエクアドル国の南西部コスタ地域に位置し、熱帯性気候の基にバナナ・マンゴ・サトウキビ・水稲等が栽培される農業地域である。



サンタロサ地区はオロ州々都のマチャ ラ市の東部に広がる平野部に位置する。

同地区内には4ヵ所(パサへ、グアボ、アレニージャ及びサンタロサ)の水利組織があり、30路線の幹線用水路により3,650haを灌漑している。

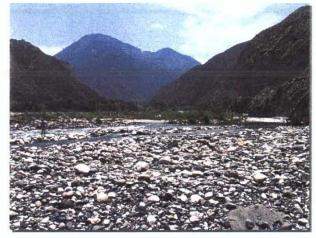
サンタロサ地区の受益農家は 1,736 戸であるが、ほとんどの農家は 10ha 以下の小規模農家である。

本地区の潅漑施設は1960年代に整備されたが、老朽化が激しく、また洪水等の被害による水路機能不全箇所が多く、地域農業振興に大きな障害となっているため、日本の技術協力や資金協力により、施設のリハビリテーションと営農環境の近代化を図りたいとしている。

添付資料

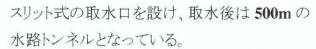
- 1.現地写真
- 2. 面会者リスト
- 3.収集資料
- 4. 要請書(案)

1. 現地写真



アンブキ地区の水源であるチョタ川の 取水地点。

水利組合員による導水路の再構築。 毎年取水期に共同で整備を行っている。 重機械がないため全て人力施工。





取水口と水路トンネル部

水路トンネル後の幹線水路。 幹線水路は全線三面コンクリート舗装がなされているが、老朽化が激しく、漏水や不通箇 所が多い。





幹線水路沿いのテャルガヤク集落

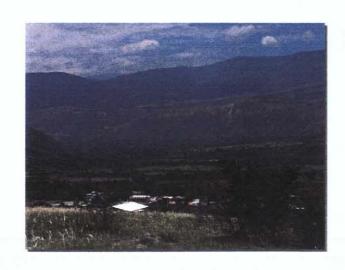
アンブキ地区の各集落では灌漑用水は生活 用水として利用され、地域用水としての性格 が強い。





右岸地区へ配水するためのチョタ川横断サイフォン。

チョタ川左岸地区の遠景。





洪水により破損した水路橋の補修状況。 水利組合員による直接施工。

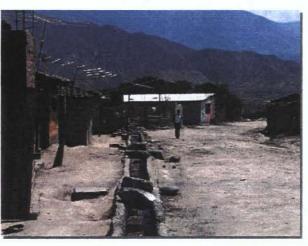
支線水路への分岐部。サイフォンとなる部分。



右岸のツンバタ集落



同集落の中心部。 生活用水としての支線灌漑用水路が集落内 を走っている。





右岸のツンバタ集落

右岸地区での伝統的農法(畜力)によるサトウキビ畑の耕耘状況。

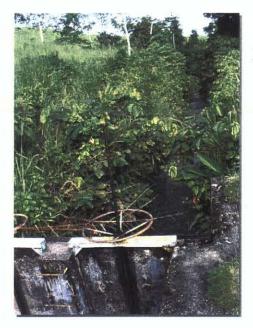




才口州水資源管理事務所

渓流からの幹線用水路への取水状況。





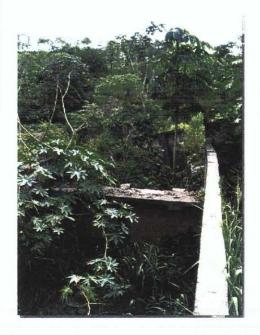
支線用水路へのゲートコントロール部。

地区内幹線農道の状況 未舗装/未整備のままである



洪水により破壊されたままの取水堰。

同上の頭首工部分。



2. 面会者リスト

在エクアドル国日本国大使館:戸田 勝規(特命全権大使)

井上 浩 (二等書記官)

Ministerio de Rlaciones Exteriores:Minoru Tagami (Exp. de JICA)

CORSINOR:

Joel Haro Lozano (Direcor Ejecutivo Corsinor)

Victor Hugo Cadena

Perez Carlos

Ernesto Hernandez

Consejo Provincial de El Oro:

Guillermo Maura López (Director)

Montgómery Sánchez Reyes

Wicher Encalada

3. 収集資料

ECUADOR SU Realidad - 2000-2001: Fundación José Peralta

Reporte de Contrtación de Riego 1999 y 2000: Consejo Provincial de El Oro

Proyecto de Riego "Coop. Defensores Orenses": Consejo Provincial de El Oro

MAPA Provincia de El Oro (1/200,000)

MAPA Provincia de El Oro (1/100,000)

4. 要請書(案)

本要請書は調査団と CORSINOR の協議により作成されたものである。

1. CONDICIONES GENERALES DE LA REPUBLICA DEL ECUADOR

1.1. CONDICIONES NATURALES

La República del Ecuador se encuentra ubicada en la parte noroeste del continente Suramericano, en la latitud 1º norte 5º sur y el la longitud 75º - 81º oeste; el Ecuador la atraviesa por el norte de su capital, Quito.

Sus límites son : al norte y noroeste con la República de Colombia, al sur y sureste con la República del Perú y al oeste el Océano Pacífico. (ver anexo 1)

La superficie territorial es de aproximadamente 270.000 Km2, y se constituye con 20 provincias y la Islas Galápagos.

Según las condiciones topográficas y climatológicas el país se clasifica en cuatro regiones bien definidas.

REGION		PORCENTAJE
Costa	(región costera)	25.6%
Sierra	(región montañosa)	25.9%
Oriente	(oriente)	44.5%
Islas Galápagos(región Insular)		3.0%

Estas regiones están divididas por la Cordillera de los Andes, que atraviesa el país de Norte a Sur y las Islas Galápagos que se encuentran distribuidas en el Océano Pacífico.

La "Costa" se extiende desde el oeste de la cordillera de los Andes hasta el Océano Pacífico. Es relativamente plana y su altura no sobrepasa los 300m. La parte Norte se caracteriza por ser una zona lluviosa de alta temperatura; al contrario, en la zona Sur predomina el clima seco.

La "Sierra" es de unos 100 a 200 Km. de ancho. La cordillera de los Andes se extiende a lo largo de toda la sierra, de norte a sur, dividiéndola en dos subfranjas; los campos agrícolas se distribuyen en toda el área. El ciima de la sierra es relativamente tempiado, a pesar de su considerable altura y de estar localizada en la región ecuatorial

El "Oriente" es un área de clima tropical que se extiende desde la zona oriental de la cordillera de los Andes hasta la zona amazónica.

El clima difiere grandemente, dependiendo de la región, la complejidad de la configuración terrestre, la corriente fría de Humbolt, la cálida del Niño, etc.

1.2 DEMOGRAFIA

a) Datos Poblacionales

Según la información obtenida en el Censo de 1990, la población estimada del país fue de 9,648,000.00 habitantes, y la tasa de crecimiento anual fue 2.25% en relación al censo de 1982. Del total nacional, el 55.4% (5'344.992 Hab) se encontraba distribuido en el sector urbano y el 44.6% restante (4'303.008 Hab) en el rural.

b) Distribución Poblacional

La distribución poblacional por grupo de edad, según el Censo Poblacional de 1990, es la siguiente:

Grupo de edad	Proporción(%)	
0-14 años	38.0	
15-24 años	20.3	
25-64 años	36.6	
> 65	4.3	

c) Población Económicamente Activa

La población económicamente activa PEA (más de ocho años) fue de 3'360.000 Hab., la tasa de empleo fue de 1.3%, mientras que la tasa de desocupación entre la PEA es de 3%.

d) Tasa de crecimiento poblacional anual

La tasa de crecimiento poblacional anual durante los pasados 10 años (1980-1990) fue de 1.6 % y la densidad poblacional de 35.5 Hab/km2.

e) Proyecciones poblacionales para el período 1990-2000

La proyección de la población total del Ecuador se ha estimado en base a las tendencias históricas de mortalidad y fecundidad, tomando en cuenta las proporciones del crecimiento que corresponden a las provincias, tanto para el área urbana como rural, según el Censo de población realizado en 1990.

De acuerdo con los datos proporcionados por dicho Censo, se desprende que, para el año actual (1997), la población del Ecuador sería de 11'933.858 Hab. aproximadamente y para el año 2.000 de 12'646.095 Hab. ;de los cuales el 50% (6'325.547 Hab) se estima estarán en la Costa, el 44.3% (5'597.750 Hab) en la Sierra y el 5.7% restante (513.800 Hab) en la regiones Amazónica e Insular.

Entre los años 1990-2000 la población urbana, debido a su mayor ritmo de crecimiento (3.6%, promedio anual), pasará a significar el 64% de la población Ecuatoriana en el año 2000 (en 1990 significó el 54.4%); en tanto que la población rural, que incluso sufrirá una disminución en términos absolutos, pasará a representar el 36% restante.

Las regiones Sierra y Costa, con tasas de crecimiento similares a su población urbana (de alrededor de 3,5% anual), experimentarán una ligera disminución de su peso relativo, de 2.1 a 2.9 % en el período. En tal caso, la costa conservará su calidad de región más "urbanizada" del país.

Las provincias de Guayas, Pichincha y Manabí demográficamente las más grandes del país crecerán en conjunto a un ritmo promedio anual mayor que el resto de provincias del país, por lo que en el año 2.000 tendrán habitando en ellas al 56.6% de la población ecuatoriana, mientras que en 1.990 abarcaban el 55.1%; el 43.3% complementario se encontrará distribuido en las 18 restantes provincias

1.3 ECONOMIA

1.3.1 Producto Interno Bruto (PIB) por Actividad Económica

Según datos provisionales proporcionados por el **Banco Central del Ecuador** 1 para el año 1997, el Producto Interno Bruto (PIB) fué de **US\$ 17,821.8 millones**, de los cuales el sector agrícola representa el 12.1%; el petrolero un 8.8%; la industria manufacturera un 21%; Electricidad-gas-agua un 0.3%; la construcción un 4.6%; el sector comercio y hoteles un 20%; el de transporte y comunicaciones un 9%; el sector financiero un 5.5%; el de servicios gubernamentales y sociales un 12.5% y otros el 5,7%.

1.3.2 Exportaciones

Para el año 1997 el total de las exportaciones alcanzó la cifra de US\$ **5,264,363,000.00** a precios FOB, de los cuales el 80.8% (US\$ 4,252,922,000.00), corresponde a productos primarios y el 19.2% (US\$ 1,011,441,000.00), a industrializados.

De este total de exportaciones, el 26.8% (US\$1,411,577,000.00), corresponde a petróleo crudo; el 25% (US\$ 1,327,177,000.00) a banano y plátano; el 1.7% a café; el 16.8% (US\$ 885,982,000.00) a camarón; el 1.1 al cacao; el 0.3% al abacá ; el 2.5% (131,010,000.00), a flores naturales y el resto, esto es el 25.8%, a madera, atún, pescado, y productos elaborados como: derivados del petróleo, café elaborado, elaborados del cacao, harina de pescado, químicos y fármacos, manufacturas de metales, sombreros, manufacturas textiles, entre otros.

De estos resultados se deduce plenamente que la agricultura es la actividad más importante, con una participación del 30.6% del total de exportaciones; luego le sigue el sector petróleo con el 26.8% y el camaronero con el 16.8%, constituyendose de esta forma en los productos más importantes de exportación.

1.3.3 Importaciones

Las importaciones por destino económico, para el año 1997, ascendió a la suma de US\$ 4,520,051,000.00 de los cuales el 20.9% (US\$ 948,025,00.00), corresponde a bienes de consumo; el 8.4% (US\$ 378,618,00.00), a combustibles y lubricantes; el 39.7% (US\$ 1,796,370,00.00), a materias primas; el 30.9% (US\$ 1,396,382,000.00) a bienes de capital y un 0.01% (657,000.00) a diversos.

1.4 SITUACION ACTUAL DEL SECTOR AGROPECUARIO:

Dentro del proceso de **Modernización del Estado Ecuatoriano**, el País se encuentra experimentando una serie de cambios encaminados a resolver los problemas y obstáculos estructurales y coyunturales que le impiden alcanzar su desarrollo.

De esta forma el gobierno anterior implementó, por medio de la Secretaría General de Planificación, su "Plan de Acción de Gobierno para el período 1993 a 1996"; en dicho Plan el Gobierno estableció algunas prioridades en el accionar del sector público, a fin de mejorar el bienestar social, los servicios públicos, modernizar el Estado, aumentar la producción y productividad y dinamizar la economía.

El nuevo rumbo que tendrá que tomar la sociedad Ecuatoriana, se basa principalmente en dos principios básicos que son:

a) La participación de la sociedad en las decisiones para el desarrollo; y,

b) Eficiencia del Sistema.

En el análisis realizado a todos los sectores de la economía del país, se analizó el problema del **sector agropecuario** siendo el más visible, **la baja productividad del mismo.**

Las principales manifestaciones de este problema son:

a) Las explotaciones agrícolas cuyos rendimientos su- peran los promedios potenciales, representan menos del 7% en superficie y producción;

- b) Bajos rendimientos de productos de consumo interno, en comparación con las explotaciones agrícolas y pecuaria de otros paises con igual desarrollo económico;
- c) Bajos rendimientos de la actividad pecuaria, los productos de exportación y los productos agroindustriales;
- d) Sólo el 20% de la superficie potencialmente regable, dispone de este servicio; y,
- e) La superficie agrícola mecanizable es de 2'500.000 has. Sólo el 40% de ella está mecanizado.

Según el diagnóstico realizado, las causas que han generado este problema serían:

- a) **Insuficientes proyectos integrales** para el fomento de la producción.
- b) Insuficiente producción interna de insumos, especialmente de semillas calificadas y falta de control de calidad;
- c) Insuficiente investigación y transferencia de tecnología para el sector agrícola, que no cubren la gama de problemas técnicos y productivos;
- d) Limitada superficie agrícola bajo riego;
- e) Insuficiente infraestructura para la comercialización que eleva la participación de los intermediarios, quienes incrementan sus márgenes de utilidad en detrimento de la rentabilidad de los productores; y,
- f) Baja inversión y deficiente mantenimiento de la infraestructura de apoyo al desarrollo del sector rural .

Ante esta problemática el Estado ha propuesto:

a) Revisar las leyes y reglamentos del sector agropecuario con criterios de equidad étnica, social y género para permitir una mayor libertad para el sector en materia de precios, importación de insumos, bienes de capital y movilización de productos; así como disminuir la expansión de la frontera agrícola, promoviendo

el uso eficiente de la tierra, para preservar especialmente los ecosistemas frágiles.

- b) Incrementar el área bajo riego mediante la autogestión de los usuarios, garantizando la participación de las mujeres en la administración y operación de los sistemas de riego.
- c) Crear las condiciones para mejorar el sistema de comercialización agropecuario.
- d) Desarrollar, usar y difundir un sistema de investigación estratégico para utilización de los sectores público y privado, que incluya: análisis, perspectivas de mercado, ventajas comparativas del país, desarrollos tecnológicos potenciales y otros.
- e) Apoyar al sector privado en la ejecución de proyectos integrales, para mejorar la producción agropecuaria.
- f) Promover la organización de pequeños y medianos productores para la producción, comercialización y adopción de mejoras tecnológicas.
- g) Mejorar la inversión e infraestructura rural para el sector agropecuario, en la rehabilitación de áreas agrícolas críticas y en la conservación de la cobertura vegetal natural de las áreas más deterioradas del territorio nacional.

Con estas acciones propuestas y otras más, el Estado espera obtener los siguientes resultados:

- 1. Incrementar los rendimientos promedio de los productos agropecuarios, en áreas de asistencia técnica.
- 2. Incremento del 5% de la superficie potencialmente regable; y,
- 3. Disminuir los niveles de pobreza extrema, con especial referencia a los hogares de iefatura femenina.

2. REHABILITACION AGRICOLA DEL DISTRITO DE AMBUQUI.

2.1 ANTECEDENTES.

El Sistema de riego Ambuquí es uno de los más antiguos del País; éste se inició en el año 1968, cuando el Instituto Ecuatoriano de Recursos Hidráulicos INERHI (hoy extinguido), presenta el documento "Informe de Factibilidad del Proyecto Ambuquí", el cual fué entregado al Banco Interamericano de Desarrollo BID, con miras a conseguir su financiamiento; solicitud ésta que no llegó a concretarse, razón por la cual el INERHI inicia su construcción con fondos del presupuesto del Estado.

A mediados de 1975 el INERHI decide ampliar la superficie a regarse hasta un total de 1,620 has.; habiendose incrementado 800 has, que correspondían a las localidades de Tumbatú y Pusir.

Anteriormente toda la zona en donde se ubican los poblados antes citados pertenecieron a la comunidad de Padres Jesuítas (años 1870 a 1907 aproximadamente), quienes debido a las condiciones difíciles de trabajo introdujeron en esta zona gente de origen africano, que por su recia contextura y capacidad física, resistían el clima, insectos y enfermedades propias de la zona subtropical que diezmaba a indios y mestizos.

Con la expedición de la Ley de Reforma Agraria en 1964, los agricultores se organizaron primeramente en comunidades luego en cooperativas de producción, para que se les adjudique en propiedad dichas tierras ya que anteriormente los pobladores de esta zona no tenían en propiedad ningún terreno, y lo que hacían es trabajar en calidad de HUASIPUNGUEROS (una forma de explotación de la fuerza de trabajo del modo de producción feudal).

Actualmente el sistema de riego Ambuquí, es administrado por la Corporación de Desarrollo de la Sierra Norte CORSINOR, la cual se encuentra empeñada en concluir la construcción de dicho Proyecto, el mismo que se inició hace aproximadamente 30 años.

2.2 OBJETIVOS DEL PROYECTO:

2.2.1 Objetivos de corto plazo:

- a) Optimizar el uso del agua, revistiendo los canales (algunos tramos).
- b) Aumentar el área regable de 1.176 a 1.296 has. con el consiguiente beneficio para otras familias de la zona (Espadillas)
- c) Dotar de agua para riego durante todo el año.
- d) Proporcionar servicios de apovo a la producción :
 - centros comunales
 - asistencia técnica y capacitación.
- e) Incrementar las fuentes de trabajo para los habitantes de la Región.
- f) Dotación y mejoramiento de servicios básicos, como agua potable.

2.2.2 Objetivos de Mediano y Largo Plazo:

- a) Promover el aumento de la producción y productividad en forma tecnificada.
- b) Diversificación de la producción agrícola, tanto para cultivos de consumo interno como de exportación.
- c) Elevar el nivel de ingresos de las familias asentadas en el área del proyecto.
- d) Generación de empleo en la zona a fin de evitar la migración campesina.
- e) Aprovechamiento de la producción para su industrialización.
- f) Implementar un sistema de comercialización eficiente.
- g) Emprender un programa de mitigación de impactos ambientales y de conservación del medio ambiente.
- h) Lograr un desarrollo sostenido de la zona.

2.3 JUSTIFICACION DEL PROYECTO:

El sistema de riego Ambuquí proporciona agua para el consumo humano y para riego a una extensa zona de campesinos, cuya población ha sido marginada del contexto del desarrollo nacional por muchos años, quienes han sobrevivido en condiciones adversas, tanto físicas como económicas y sociales.

Con la ejecución del proyecto se prevee, a futuro, un mejoramiento de las condiciones de vida de la población asentada en el área del Sistema; se espera con su implementación, un incremento de la producción y productividad agrícola. Por otro lado queda establecido que la actividad predominante en la Zona es la agricultura y es asi como en la actualidad se esta trabajando con cultivos de ciclo corto como son: fréjol, vainita, arveja, tomate riñón; existen además cultivos semiperennes como : frutilla, sandía, babaco, granadilla, papaya, pepino dulce, uvilla, tomate de árbol, aguacate, caña de azúcar, guayaba, mango, y tuna. También se producen algunos tubérculos como: Yuca, y camote; entre las hortalizas tenemos: brócoli, ají, espárragos, pimiento, cebolla de bulbo, etc. y existen también algunas especies forestales como: ciprés, eucalipto, pino, capulí, molle y nogal.

Las posibilidades de aumentar la producción y productividad son grandes, por lo tanto la Zona de Ambuquí podrá desarrollarse. Actualmente existe el el área de influencia del Sistema de riego Ambuquí altos índices de analfabetismo, desnutrición y mortalidad, que obviamente, han incidido en la baja de la producción y productividad agrícolas.

Lo aseverado se confirma con los datos presentados en el Documento titulado "La Geografía de la Pobreza en el Ecuador" 2, el cual revela la existencia de un 83,2% de pobreza y una 19% de indigencia en la Zona de Ambuquí.

Por todo lo anotado anteriormente, se justifica la ejecución de tan importante Proyecto, agregando además que el Gobierno Ecuatoriano ha decretado atención PRIORITARIA para el sector agropecuario.

2.4 DESCRIPCION DEL SISTEMA DE RIEGO AMBUQUI

^{2.} Carlos Larrea, Jaime Andrade, Władymir Brborich, Diego Jarrín, Carolina Reed; La Geografía de la Pobreza en el Ecuador, Quito: PNUD, 1996

El Sistema de Riego Ambuquí tiene una extensión aproximada de 1.100 has. se encuentra limitado al norte por la cota 1.675 m.s.n.m.; al sur por la cota 1.700 m.s.n.m.; al este por las poblaciones de Juncal y Piquiucho; al oeste por las rectas de Ambuquí y San Alfonso. Comprende las localidades de Chalguayacu, El Juncal, Carpuela, Ambuquí y San Alfonso, pertenecientes al cantón Pimampiro y parroquia Ambuquí del cantón Ibarra, provincia de Imbabura. Además las localidades de Tumbatú, Pusir Chico y Pusir Grande de la provincia del Carchi.

La infraestructura de riego y drenaje del sistema, comprende obras de captación, conducción principal, secundaria, terciaria y caminos.

El recurso hídrico es captado en el río Caldera (origen del río Chota), cota 1.715 m.s.n.m., con una toma de fondo de 4.0 mts.³/ seg. de capacidad.

El canal principal tiene una longitud de 29 kms.; se encuentra totalmente revestido y con una capacidad de conducción de 1.8 mts.³/seg. en canal abierto y 2.5 mts.³/seg. en túnel.

El canal secundario con 23 derivaciones, tiene aproximadamente 27.0 kms. de longitud.

La distribución del riego se efectúa por medio de 54 tomas directas del canal principal, siendo la dotación para riego de 1.0 lts/seg/ha.; la distribución del agua es por turnos y caudal contínuo

2.5 COMPONENTES DEL PROYECTO "REHABILITACION AGRICOLA DEL DISTRITO DE AMBUQUI"

Los principales componentes del proyecto son:

2.5.1 Infraestructura agrícola:

Se pretende mejorar la infraestructura básica y necesaria para el abastecimiento de agua como:

Rehabilitación de Bocatoma, canal principal (29 Km), canal secundario (27Km)

2.5.2 Infraestructura rural:

Mantenimiento de caminos de acceso a lo largo del canal principal y secundario, construcción de tres centros comunales, construcción de pequeñas plantas de tratamiento para agua potable, utilizando agua del mismo canal.

2.5.3 Conservación de las tierras agrícolas:

Mejorando los canales de drenaje en la zona de Carpuela y construcción de muros de gaviones en márgenes izquierda y derecha del río Chota para proteger un tramo del canal que pasa por dicho río.

2.5.4 Operación y mantenimiento:

Con la provisión de maquinaria y equipo necesario para operar y mantener el sistema.

Las especificaciones de las instalaciones, equipo y costos de los demás componentes del Proyecto, se detallan en el **anexo 2**.

2.6 BENEFICIO ECONOMICO Y SOCIAL, MAGNITUD DEL EFECTO Y EFECTO PUBLICITARIO.

- 1. La población que se beneficiará directamente del proyecto es de unas **11,550 personas** (unas 1,777 familias).
- La población indirecta a beneficiarse lo constituyen comerciantes, constructores, industriales, artesanos y comunidad en general de parroquias y cantones aledaños a la zona del Proyecto, que se estima serían unas 150.000 personas.
- La superficie que se beneficiará del proyecto es de aproximadamente 1.296 has.

2.6.1 Efecto Económico y Social del Proyecto:

2.6.1.1 Situación actual de las obras:

Uno de los problemas que actualmente existe en el área del proyecto, aparte de la pobreza general, es el relacionado con el mal estado en que se encuentra el Sistema de riego Ambuquí por la falta de mantenimiento y adecuada operación del mismo.

Desde el año de 1993 en que se inicia el proceso de modernización del Estado, la mayoría de los sistemas de riego empezaron a adolecer de la falta de mantenimiento, ya que el INERHI (hoy extinguido), era el organismo encargado de esta función; además, se produce en el País una constante crísis fiscal que ha imposibilitado la asignación de los mínimos recursos para las labores de mantenimiento de la infraestructura de riego a nivel nacional.

Por lo expuesto es urgente la ejecución de algunas obras encaminadas a rehabilitar todo el sistema de riego, siendo las principales las siguientes:

a) Bocatoma:

La bocatoma del sistema, es una captación de fondo, se encuentra ubicada en la cota 1.710 y capta las aguas del río Caldera. La captación tiene una capacidad de hasta 4 mts.³ y se encuentra terminada pero no funciona ya que ésta se tapó con la primera crecida y desde ese entonces sigue igual, faltando además las compuertas de regulación.

La captación se mide y se controla a través de compuerta reguladas, la conducción mediante regletas y curvas de descarga y la dotación a través de medidas Parshall y compuertas.

Es importante señalar que en invierno suceden grandes crecidas del río Caldera, las mismas que taponan la rejilla de captación con grandes cantidades de material, ocasionando contínuas suspensiones en el servicio de riego, para lo cual es necesario un tractor a fin de rehabilitar el mismo. El presupuesto para rehabilitar la bocatoma se indica en el anexo 2.

b) Canal principal:

Tiene una longitud de 29 km. dividido en dos márgenes.

Su capacidad es para conducir 1,80 mts³/seg. en el canal abierto y 2,50 en el túnel, la sección del túnel es mínima, es decir de 1,2 mts. de ancho por 1,80 de alto.

Debido a la falta de falta de mantenimiento oportuno, el canal principal se encuentra deteriorado y es necesario reponer algunos tramos de canal y realizar actividades de dezasolve, desbroce, excavación en canal, muros de gaviones, rellenos, compuertas metálicas para distribución, etc. Las obras a realizarse en el canal principal se detallan en el anexo 2.

c) Canal secundario:

Tiene aproximadamente 27 km. de longitud, está equipado con cajas repartidoras y compuertas con sus respectivas seguridades y medidas.

La distribución del riego se realiza mediante 49 tomas y 23 derivaciones que nacen en el canal principal. El número de tomas y derivaciones están ubicadas de acuerdo a las zonas o sectores que pueden regar la mayor cantidad de usuarios. Igualmente es necesario reponer algunos tramos del canal, excavación de cananl, rellenos, dezasolve, desbroce y compuertas metálicas para distribución.

d) Caminos:

Toda la red del sistema cuenta con caminos de acceso que son en un gran porcentaje lastrados los cuales suman en total 40 kms de longitud

Sin embargo se necesita rehabilitar estos caminos que no han tenido mantenimiento por unos 10 años por lo cual se encuentran en mal estado. Asimismo el presupuesto de obras se indica en el anexo 2.

e) Servicios de apoyo a la producción:

En lo que tiene que ver con el desarrollo agrícola, es menester indicar que desde hace algunos años no se ha efectuado ningún tipo de actividad o trabajo encaminado a aprovechar la producción de la zona.

También es necesario el mejoramiento y dotación de otros servicios básicos, como agua potable,

capacitación y asistencia técnica, crédito, mecanización agrícola, etc.

Los centros comunitarios o casas comunales son necesarias, a fin de reunir y organizar de mejor manera a los agricultores, así como para recibir capacitaciones.

El presupuesto respectivo se detalla en el anexo 2.

2.6.2 Efecto esperado del proyecto:

Con este proyecto se espera disponer del sistema de riego durante todo el año, aumentar el área regable a 1,296 has. lo que hará que más familias tengan acceso al servicio de riego; y, abastecer con productos para el autoconsumo y para la venta, con productos de calidad y a precios convenientes.

Se espera disminuír las enfermedades causadas por el consumo de agua contaminada, situación que se conseguirá con la dotación de agua potable.

2.6.3 Efecto publicitario.-

En todo el país, (11,933,858.00 habitantes aproximadamente), ya que se constituirá en un sistema de riego modelo y se resaltará la ayuda brindada por el gobierno de Japón, en los programas informativos del gobierno, a nivel nacional.

3. SITUACION ACTUAL DEL SITIO DEL PROYECTO

El área de influencia del sistema de riego Ambuquí se constituye por los caseríos de Chalguayacú, Juncal, Carpuela, Ambuquí, y San Alfonso, pertenecientes a los cantones Pimampiro e Ibarra; además comprende las localidades de Tumbatú, Pusir Chico y Pusir Grande, de la provincia del Carchi.

3.1 CONDICIONES SOCIALES:

3.1.1 Población:

El total de la población asentada en la zona y realizada una proyección al año 1997, es de **11,550 habitantes** aproximadamente, de los cuales 5,891 corresponden al sexo masculino y 5,659 al femenino.

Cabe destacar que el número de familias directas beneficiarias del Sistema de Riego Ambuquí es de 821, con un promedio de 6.5 personas por núcleo familiar, lo que nos da un total de 5,336 personas (46% del total). El 54% restante de la población (6,214), corresponde a personas dedicadas a otras actividades, como el comercio, la artesanía, trabajo a jornal y otros se dedican a cultivar tierras de secano. Para mayor información ver el cuadro No.1

CUADRO No.1

DATOS POBLACIONALES DEL AREA DE INFLUENCIA DEL SISTEMA

DE RIEGO AMBUQUI

NOMBRE DEL PUEBLO	NO. DE CASAS	POBLACION	NO. DE USUARIOS DEL SISTEMA
CHALGUAYACU-JUNCAL	650	4,400	119
CARPUELA	280	2,240	159
PLAYA DE AMBUQUI	130	850	119
EL BERMEJAL	50	350	47
SAN ALFONSO	70	470	63
PUSIR	300	2,400	230
TUMBATU	120	840	84
TOTAL	1,600	11,550	821

FUENTE: Visita de campo conjunta, Sr. Sakurai y funcionarios de CORSINOR, el 25 de junio de 1998.

3.1.2 Población Económicamente Activa:

La población en su mayoría está dedicada a la agricultura (61%), es decir 7,046 personas, incluyendo agricultores que poseen riego (5,336 personas, es decir un 46%) y agricultores que cultivan terrenos de secano (1,710 personas, es decir 15%) y le siguen con poca importancia los artesanos, comerciantes y jornaleros, con el 39% restante (4,504 personas)

Hay que destacar que los propietarios de las pequeñas explotaciones, han tenido que dedicarse a la artesanía el comercio y a la prestación de sus servicios como jornaleros (peones,trabajadores de la construcción),debido a que sus propiedades no les permiten obtener ni siquiera para la subsistencia de sus familias, peor aún obtener un excedente para la comercialización; situación que ha ocasionado un permanente flujo migratorio de los habitantes del lugar, hacia las ciudades más cercanas como son Quito, Tulcán e Ibarra, en busca de oportunidades de trabajo.

3.1.3 Aspectos Educativos:

De las investigaciones realizadas en la zona se llegó a determinar que el 19.4% de personas adultas son analfabetas. Un 70% de la población total tiene educación primaria, aunque la mayor parte no han concluido siquiera los tres o cuatro primeros años, así mismo se determinó que el 3.5% tienen instrucción secundaria y de un 7.1% no se posee información.

3.1.4 Vivienda e Higiene:

Según lo que se ha podido observar, se puede indicar que la casi totalidad de las viviendas no prestan las condiciones mínimas de habitabilidad, que les permita vivir de una forma humanamente digna.

Muchas viviendas están constituidas por chozas de barro y carrizo (bareque), recubiertas de paja unas y otras con teja; el piso de la mayoría de viviendas es de tierra.

En cuanto se refiere al espacio físico se puede manifestar que muchas familias viven en un estado de promiscuidad y hacinamiento deplorables, ya que utilizan uno o dos cuartos en donde funcionan la sala, el comedor, la cocina y el dormitorio y aún se ha podido observar que dentro de ella se almacenan los productos obtenidos en sus cosechas.

3.1.5 Alimentación:

Está compuesta fundamentalmente por los productos existentes en la zona. Las dietas diárias son generalmente

pobres y carentes de proteinas de orígen animal, de grasas, de calcio y de vitaminas. Esto se debe a la reducida capacidad adquisitiva de la mayor parte de familias, que no les permite acceder a ciertos alimentos necesarios y básicos, razón por la cual la población asentada en la zona del proyecto adolece de graves problemas nutricionales.

3.1.6 Enfermedages::

Como consecuencia de la ausencia de servicios básicos como el agua potable y el deficiente régimen alimenticio, se ha diagnosticado casos de: parasitosis, gastroenteritis, influenza (epidemias de gripe), fiebre reumática y algunos casos de tuberculosis.

3.1.7 Centros de Salud:

En el área del proyecto existen: un Dispensario Comunal en el Chota; un Subcentro de Salud en Ambuquí y un Centro Médico en el Juncal.

La finalidad de estos tres dispensarios es la de controlar o prevenir cualquier brote epidémico, velando además por el saneamiento ambiental. Cuando se presentan casos graves los pacientes son trasladados a las ciudades de Ibarra o San Gabriel.

4. RAZON DE LA SELECCION DE AMBUQUI.

Como se dijo anteriormente, el sistema de riego Ambuquí proporciona agua para riego y consumo humano a una extensa zona, poblada por campesinos en su mayoria de color, quienes han sido por muchos años, marginados del contexto del desarrollo del País.

El área de influencia del sistema de riego se caracteriza por ser una zona productora de cultivos de ciclo corto, como: leguminosas, algunas legumbres, cítricos, frutales, tubérculos, etc.; de cultivo semiperennes tales como frutilla, sandía, babaco, caña de azúcar; perennes como aguacate, algunos cítricos, guayaba, mango, etc. los cuales tienen gran aceptación los mercados de las poblaciones aledañas como: Pimampiro, San Gabriel, Tulcán, Ibarra, Otavalo y Quito.

Otro aspecto importante que es necesario resaltar y que constituye un grave problema, es el deterioro de la infraestructura de riego, debido a la falta de operación y mantenimiento oportunos, desde el año de 1994, fecha en la cual el entonces Instituto Ecuatoriano de Recursos Hidráulicos INERHI, empieza su proceso de extinción, sin que desde ese entonces hasta el presente, el Estado haya asignado recurso alguno para este fin.

A este hecho se suma el de la compra de renuncias en todo el País, con miras a reducir el tamaño del Estado, por lo que, el personal que realizaba las funciones de operación y mantenimiento, también fué reducido a un mínimo contingente.

Como contraparte se crearon las Corporaciones de Desarrollo Regional, a las que hasta el momento no se les asigna los recursos suficientes y necesarios para solucionar este problema.

Por lo señalado, el sistema de riego Ambuquí no ha tenido el mantenimiento apropiado, para optimizar su conducción y distribución de agua, por un lapso de cuatro años. Por lo tanto es necesario y urgente la realización de varias obras para su inmediata rehabilitación.

4.1 RELACION ENTRE EL SECTOR Y EL PROYECTO SOLICITADO.

El Proyecto "Rehabilitación Agrícola del Distrito de Ambuquí" conjuga plenamente con los objetivos del **Plan de Acción del Gobierno**, periódo **1993-1996** y constituye también parte de "**La Estrategia de Desarrollo Ecuador 2025**" elborada por La Secretaría General de Planificación SEGEPLAN del CONADE, para el sector agropecuario.

4.2 RAZONES POR LAS CUALES EL PROYECTO HA SIDO FORMULADO BAJO LA COOPERACION FINANCIERA NO REEMBOLSABLE DEL GOBIERNO DEL JAPON

- a) La inversión para emprender en un proyecto integral de este tipo es fuerte y ni el Estado ni los usuarios están en capacidad de afrontar este gasto de inversión . El Estado ecuatoriano actualmente se encuentra en austeridad del gasto público.
- b) Aprovechar la buena voluntad del gobierno del Japón empeñada en colaborar estrechamente con nuestro país, especialmente en lo que tiene que ver con el mejoramiento del sector agropecuario.
- c) Necesidad de aumentar la frontera agrícola en nuestro país.

d) Atender a poblaciones campesinas marginadas y mejorar su nivel de vida, incorporándolos al proceso de desarrollo nacional.

4.3 IMPORTANCIA DEL PROYECTO AMBUQUI DENTRO DEL CONTEXTO DEL DESARROLLO NACIONAL

Este Proyecto es uno de los más antiguos del país, ya que se inicia en el mes de octubre de 1968. En la actualidad este Sistema riega 1,176 has. en una zona que hace unos treinta años se consideraba árida e inhóspita.

La zona de Ambuquí tiene características únicas en cuanto se refiere a clima, suelos y cultivos y está ubicada en un lugar estratégico, esto es entre la provincias del Carchi y la de Imbabura, y a solo tres horas de Quito, capital del Ecuador.

Las posibilidades de aumentar la producción y productividad son muy grandes, con el riego oportuno y seguro durante todo el año, y con la debida capacitación y asistencia técnica al agricultor, situación que de darse mejorará el nivel de vida de la población del área.

Por otra parte la zona de Ambuquí es una área que se presta para desarrollar el turismo, debido a su riqueza natural, su clima, sus suelos, la artesanía y a la riqueza étnica que poseen sus habitantes.

5. OPERACION Y MANTENIMIENTO ACTUAL DEL SISTEMA.

Para la operación y mantenimiento del Sistema de riego Ambuquí, CORSINOR ha asignado un ingeniero agrónomo, dos bocatomeros y cuatro aguateros. El ingeniero agrónomo es el técnico encargado de la planificación y supervisión de los trabajos que se realizan en todo el Sistema.

Los bocatomeros tienen la obligación de controlar el caudal de entrada durante las 24 horas del día.

Los aguateros estan distribuídos en cuatro zonas de riego, en cada una de las cuales, además de hacer el mantenimiento del canal principal, se encargan de la distribución del caudal de agua, de acuerdo a un horario establecido, así como también tienen la obligación de informar al técnico de cualquier novedad relacionada con el estado de las obras de conducción principal, secundaria y de su distribución.

El mantenimiento de los canales secundarios se realiza con la ayuda de los usuarios, mediante mingas (trabajo colectivo), las mismas que son organizadas por el técnico responsable y la colaboración de los aguateros de la Zona.

5.1. OPERACION Y MANTENIMIENTO DE LOS PRINCIPALES COMPONENTES DEL PROYECTO, OBJETO DE LA DONACION.

Luego de la rehabilitación del Sistema, CORSINOR conjuntamente con los usuarios participarán en la operación y mantenimiento de los componentes del Proyecto, posteriormente lo hará la Junta General de Regantes a través de la autogestión y el asesoramiento de técnicos de CORSINOR, hasta su transferencia definitiva. Para el efecto se ha elaborado un organigrama tentativo de la futura organización que administrará dicho Sistema. (ver Anexo 3)

A.- CAMINOS DE ACCESO

El mantenimiento de los caminos de acceso se lo realizará en forma permanente con la maquinaria donada para el efecto, y será responsabilidad de CORSINOR.

B.- CENTROS COMUNALES

La operación y mantenimiento de los tres centros comunales estará a cargo de las comunidades beneficiarias, bajo responsabilidad de sus líderes respectivos.

C.- AGUA POTABLE

La operación y mantenimiento de las plantas de tratamiento de agua potable estará, en un principio, a cargo de CORSINOR y la Junta General de Regantes y cuando se de la transferencia del Sistema a los usuarios, la operación y mantenimiento será responsabilidad de la Junta General de Regantes.

D.- INUNDACIONES Y DRENAJE

El mantenimiento de este rubro estará a cargo de CORSINOR, con la maquinaria donada para el efecto.

E .- MAQUINARIA PARA MANTENIMIENTO

El mantenimiento de la maquinaria estará a cargo de CORSINOR, para lo cual se dispone de un campamento en la localidad de Carpuela, que servira como bodega y mecánica. La maquinaria solicitada se describe en el anexo 2.

6. SOLICITUD A TERCEROS PAISES U OTROS ORGANISMOS INTERNACIONALES SOBRE EL MISMO PROYECTO.

Hasta el momento **NO** se ha solicitado financiamiento alguno a otro organismo internacional ni a ningún otro país.

PRIORIDAD.

Siendo el sistema de riego Ambuquí uno de los mas importantes que administra CORSINOR y que tiene un número considerable de beneficiarios, éste ha sido considerado prioritario por el Gobierno Ecuatoriano, y se lo ha incluído en el Plan de Inversiones de CORSINOR, para el año 1999 y si el Estado le asigna el presupuesto respectivo, se podría construir los empates de túnel (a canal abierto), con lo cual se incorporarían 120 has adicionales al riego del sector denominado Espadillas.

8. INSTITUCION EJECUTORA Y SUPERVISORA DEL PROYECTO.

8.1. BOSQUEJO DE LA INSTITUCION EJECUTORA.- Organigrama

La estructura orgánica de la Corporación de Desarrollo de la Sierra Norte CORSINOR, está conformada por los siguientes niveles: (ver Anexo 4)

- a) Nivel Directivo
- b) Nivel Ejecutivo
- c) Nivel Asesor
- d) Nivel de Apoyo
- e) Nivel Operativo

8.2. DEBERES Y FACULTADES DE LA INSTITUCION

A CORSINOR le corresponde por Ley " el manejo y óptimo aprovechamiento del agua para la satisfacción de las necesidades de la población , en las provincias de Carchi, Imbabura, Pichincha, Esmeraldas, Sucumbíos y Napo; mediante la identificación, formulación y ejecución de proyectos para el aprovechamiento y uso de los recursos hídricos, en base a las políticas y lineamientos del Consejo Nacional de

Recursos Hídricos. (Decreto Ejecutivo 2224 del 25 de octubre de 1994 y Registro Oficial No.558)

8.2.1. Número total de funcionarios.

La Institución cuenta con un total de 91 personas entre empleados y trabajadores, desglosados de la siguiente forma:

- Personal directivo:

2

- Personal técnico:

23

- Personal administrativo: 39

- Trabajadores:

27

9. ESTADO DE PREPARACION PARA LA REALIZACION DEL PROYECTO:

9.1. LOCALIZACION DEL PROYECTO:

El Sistema de Riego Ambuquí se encuentra ubicado en la parte noroccidental de la provincia de Imbabura (cuenca hidrográfica del río Mira), margen derecha (Carchi) e izquierda (Imbabura) del río Chota; cantónes Bolívar, Pimampiro e Ibarra, respectivamente (ver Anexo 5) Las coordenadas geográficas son:

00° 26′ 00" - 00° 29 00" de latitud norte, y 77° 46′ 00" - 77° 57′ 00" de longitud oeste.

9.1.1 Area total del sitio:

Las zonas de riego abarcan las poblaciones de: Chalguayacu, El Juncal, Carpuela, Ambuquí, San Alfonso, Tumbatu, Pusir Chico y Pusir Grande, las mismas que en total suman 1.176 has.

9.2 CONDICIONES FISICAS:

9.2.1 Clima:

Según la clasificación climática de KOPPEN la zona corresponde al clima estepa-caliente o semi-árido, con las siguientes características medias anuales:

Temperatura:

19.0°c

Precipitación:

450 mm.

Humedad:

80,0%

El área pertenece a la clasificación ecológica Monte Espinoso Subtropical, con especies xerófilas de chaparro como: guarango, algarrobo, espino, amarillo, tuna, chilca e higuerilla.

9.2.2 Calidad y uso del agua:

De acuerdo a los resultados de los análisis del agua, es de salinidad media y baja en sodio.

El agua del sistema de riego Ambuquí en un 95% es usada con fines de riego y el 5,0% restante en la industria y consumo humano, principalmente en sectores como: El Juncal, Chalguayacu, Carpuela y Bermejal que no cuentan aún con el servicio de agua potable.

9.2.3 Uso actual del suelo:

Los agricultores de la zona dedican sus explotaciones a la siembra de cultivos de ciclo corto, con un porcentaje del 91,77% que corresponde a 1.025,8 has. del total, y a cultivos permanentes dedican el 8,23% que equivale a 91,25 has. del total de explotaciones del proyecto, como lo resume el siguiente cuadro:

CUADRO Nro. 2

CULTIVO	No DE	PORCENTAJE
	HECTAREAS	
CICEO CORTO	1,025.80	91.77
Eréjol	832.20	74.30
Tomate Rifión	161.60	14.59
Vainita =	12.00	1.00
Hortalizas	10.00	0.90
Otros	10.00	0.90
PERMANENTES	91.25	8.23
Cana de azúcar	23.00	2.07
Frutales	45.87	4.14
Otros	22.38	2.02
TOTAL	1,108.05	100.00

Fuente: Datos de campo estimados a mayo de 1996.

Elaboración: Grupo de trabajo Ambuquí.

9.2.5 Organización comunitaria

En la actualidad los usuarios del sistema de riego ambuquí se encuentran organizados en una Junta General de Regantes, la cual se halla dividida en siete subjuntas, cada una con su respectiva directiva, quienes colaboran con el mantenimiento de los canales secundarios y con el asesoramiento de un técnico de CORSINOR, se encuentran elaborando sus estatutos para su correspondiente legalización.

A continuación, en el cuadro No.3, se detalla el nombre de las subjuntas, que conforman la Junta General de Regantes, el nombre de su representante, asi como el número de usuarios que las conforman; siendo este tipo de organización un soporte para ejecutar, en el corto plazo, la Transferencia del Manejo del Sistema a los usuarios.

CUADRO No. 3
SUBJUNTAS DE-REGANTES DEL SISTEMA DE RIEGO AMBUQUI

	TOTAL	821
07 Tumbatú	Neftali Mendez	84
06 Pusir	-Wilfrido Colorado	230
05 San Alfonso	Severo Calderón	63
04 El Bermejal	Israel Caravali	47
03 Playa de Ambuquí	Ramon Alcivar	119
02 Carpuela	Octavio Zumarraga	159
01 Chalguayacu - Juncal	Silvio Mosquera	119
# NOMBRE DEL SECTOR	REPRESENTANTE	No.USUARIOS

FUENTE: Datos proporcionados por el Ing. Hugo Cadena, Jefe del Area Imbabura.

10. CAPACIDAD DE ADMINISTRACION, MANEJO Y MANTENIMIENTO DE LA INSTITUCION EJECUTORA DEL PROYECTO.

10.1 Situación actual:

La Corporación Regional de Desarrollo CORSINOR, cuenta con el personal técnico y de apoyo necesario para la ejecución de este proyecto.

Al respecto también es necesario señalar que una de las funciones principales que el Estado Ecuatoriano le ha asignado a CORSINOR y demas Corporaciones de Desarrollo del País, es la Transferencia de los sistemas de riego a los usuarios para su autogestión. Por tal razón CORSINOR, conjuntamente con el asesoramiento de técnicos de UTAH STATE UNIVERSITY, de los Estados Unidos de Norteamérica, se encuentran diseñando un "Método de Transferencia del Manejo de los Sistemas de Riego" y existe como meta, para en los años 1998 y 1999, transferir al menos dos sistemas de riego (el sistema Salinas y el San Vicente de Pusir), como proyectos pilotos de transferencia

Para el efecto CORSINOR, como paso previo a la transferencia de los sistemas de riego, ofrecerá a los usuarios la debida capacitación y asersoramiento técnico, especialmente en aspectos relacionados a la administración, operación y mantenimiento del Sistema; para lo cual se cuenta ya con una organización de base, como lo es la Junta General de Regantes, conformada por siete subjuntas, y cuya legalización respectiva se encuentra en trámite.

11. COSTO DEL PROYECTO:

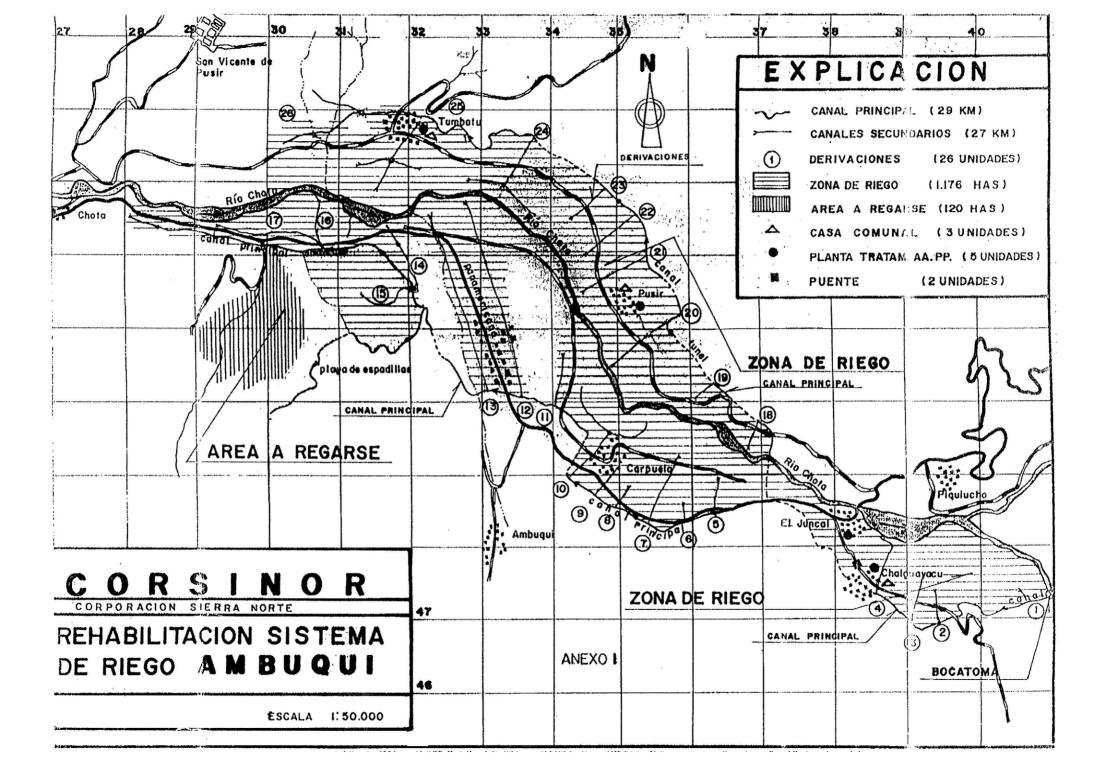
Los costos de construcción se han estimado en base a los precios unitarios correspondientes al área Imbabura, que la Institución mantiene en permanente actualización. Así mismo se ha hecho un resúmen de costos tanto en sucres como en dólares, al tipo de cambio del mes de junio de 1998: esto es, 1 dólar US igual S./5,000.00 sucres.

El costo total del Proyecto asciende a la suma de USD 4,679,640.00 de los cuales USD 4,500,000.00 corresponden al aporte del Gobierno del Japón (Donación), y USD 179,000.00 al aporte nacional. (ver anexo 6)

12. DURACION

El tiempo necesario para la ejecución del Proyecto es de dos años (ver anexo 7), periódo luego del cual CORSINOR seguirá operando y manteniendo el Sistema hasta su transferencia a los usuarios.

Elaborado por Econ. Pablo D. Maza M.
JEFE DEL DEPARTAMENTO DE PLANIFICACION
EVALUACION Y ESTUDIOS DE CORSINOR
Colaboración: Sr. Víctor Valarezo
Ing. Julio Navarro
Lcdo. Eduardo Estupiñán



No. Contract	CORPORACIONR	EGIONALD	ELA SIE	RRA NORTE "CORSINOR" ANEXO 6
31.36	RESUMEN	IGENERAL D	ECOSTO	OS DEL PROYECTO DE REHABILITACION
		DEL	SISTEMA	DE RIEGO "AMBUQUI"
A R	EHABILITACION (APORTE DEL JAPON)			
RUBRO	DESCRIPCION	COSTO	COSTO	PRINCIPALES
Nº.		Millones de Sucres	Miles de US\$	ACTIVIDADES
	Rehabilitación bocatoma	1,500.00		Excavación plataforma,canal;relleno,hormigón simple,muros de gaviones,compuerta.
	Rehabilitación canal principal	3,000.00	600.00	Excavac.canal, plataforma; muros de gaviones,dezasolve, desbroce, ellenos.
3	Rehabilitación canal secundario	4,000.00	800.00	Excavac.canal,rellenos,muros gav. hormigón simple,dezasolve y desbroce de canal.
4	Mantenimiento de caminos de acceso a	3,750.00	750,00	Excavac.plataforma nueva,lastrado,puentes en quebrada Chalguayacu y en el río
	lo largo del canal principal y secundarios			Chota,hormigón simple,muros de hormigón ciclópeo,hierro de refuerzo,cercha de metal.
5	Construcción de tres centros comunales	600.00	120.00	Construcción de tres centros comunales en Chalguayacu, Tumbatú y Pusir.
	Construcciónes para agua potable	2,000.00		Construcción de pequeños sistemas de agua potable.
7	Control de inundaciones y drenaje	2,900.00		Protección gavionada de márgenes izq. y derecha del río Chota, drenajes en Carpuela.
8	Maquinaria para mantenimiento	1,250.00	250.00	Encausamiento del río;limpleza de plataforma y mantenimiento de caminos.
	SUBTOTAL	19,000.00	3,800.00	
	REAJUSTE	3,500.00	700.00	
		22,500.00	4,500.00	
B O	PERACION Y MANTENIMIENTO (APORT	E DE CORSINO	R)	
1	Operación y mantenimiento del Sistema	749.0	149.70	Mantenimiento de canal principal, distribución del agua, supervisión; en la que intervie-
SUBTOTAL 749.00 149.70		149.70		
	REAJUSTE 149.60 29.94		29.94	
	TOTAL	898.00	179.64	
	TOTAL GENERAL	23,398.00	4,679.64	Referencia 1 Dólar US=5,000.00 sucres.

Na	rative Summary:	Pe	formance indicators	Mea	ns of Verification (SET)	important Asstimpytone
Proj	ect Goals	, 10				Goal to Supergoal
1	DESARROLLO SOCIOEC.SOSTENI DO DE LA ZONA DE AMBUQUI	1.1	EL NIVEL DE INGRESOS DE LA ZONA DE AMBUQUI, EN EL AÑO 2003 HA AUMENTADO EN UN 60% RESPECTO AL AÑO 2000	1.1.1 1.1.2	ENCUESTAS A NIVEL DE PRODUCTOR ENTREVISTAS CON AUTORIDADES Y DIRIGENTES COMUNITARIOS	La politica del Gobierno, en favor de los agricultores, se mantiene.
Proj	ect Purpose					Purpose to Goal
	REHABILITACION DEL SISTEMA Y DESARROLLO AGRICOLA	1.1	REHABILITAR EL SIS.DE RIEGO, FIRMADO. EN EL AÑO 2003 SE COMERCIALIZAN 10 RODUCTOS NUEVOS EN LA ZONA, RESPECTO AL AÑO		REGISTRO DE CONTRATOS APRECIACION VISUAL DE NUEVOS CULTIVOS ENTREVISTAS A COMERCIANTES	Existe marcado interés en los agricultores de la zona, por mejorar su situación socioeconómica.
Proi	ect Outputs	-	2000			Output to Purpose
1	SIST. DE RIEGO REHABILITADO Y TRANSFERIDO	1.1	PERDIDAS DE AGUA POR FILTRACIONES SE REDUCEN EN UN 80% EN EL AÑO 2003, RESPECTO AL AÑO 2000	300 000 00	ACTA DE RECEPCION DEFINITIVA LECTURAS LIMNIMETRICAS PARA MEDICION DE CAUDALES	Convenio tripartito, entre Junta de Regante, CORSINOR y Programa de Asistencia Técnica funciona sin inconvenientes.
2	PROGRAMA DE DESARROLLO AGRICOLA IMPLEMENTADO	2.1	A FINALES DEL AÑO 2003 SE HA CAPACITADO A 821 USUARIOS DEL CANAL MEDIANTE 24 PRACTICAS DEMOSTRATIVAS Y 12 DIAS DE CAMPO	2.1.2	INFORMES DE CONSULTORES DE CAPACITACION INFORMES DE JUNTA DE REGANTES EVALUACIONES SOBRE LA CAPACITACION	
3	PROGRAMA DE FORTALECIMIENT O INSTITUCIONAL EJECUTADO	3.1	HASTA FINALES DEL AÑO 2003 SE HAN DICTADO 10 CURSOS ,A MIEMBROS DE LA JUNTA DE REGANTES, SOBRE FORTALECIMIENTO INSTITUCIONAL.	3.1.2	INFORME DE CONSULTORES INFORME DE JUNTA DE REGANTES EVALUACIONES SOBRE CAPACITACION	,
Proj	ect Activities	Inpu	ıt s			Activity to Output
1.2 1.3 1.4 2.1	Rehabilitar bocatoma Rehab, canal principal Rehab, canal secundario Rehab, caminos de acceso Programar prácticas demostrativas Programar días de campo	1	Al año 2002 el sistema de riego Ambuquí ha sido rehabilitado totalmente, por un costo de US\$1,640,000.00 y también los programas de desarrollo agrícola y de fortalecimiento institucional han sido implementados, a un costo de US\$22,000.00 y US\$ 43,000.00 respectivamente.		firmada Acta de Recep. Definitiva Firmada Acta de Recepc. Definitiva firmada Acta de Recep, definitiva Firmada Informes de consultoría.	Los recursos financieros fluyen normalmente, para el proyecto. Los precios de los materiales de la construcción permanecen invariables. La programación es cumplida según lo programado. La Junta de Regantes cumple con su compromiso de aportar mano de obra para el proyecto. Los usuarios del riego participan activamente en el proceso de capacitación y asistencia técnica.